

3 高齢者の交通安全対策に 対するアンケート調査結果 (県民向け)

アンケート調査実施概要

○高齢者(65歳以上)と非高齢者(65歳未満)に分け、交通安全のニーズや対策受容性についてアンケート調査を行った。

①高齢者

実施期間:平成30年10月中旬～11月中旬

調査対象:愛知県在住の65歳以上の高齢者

実施方法:警察への来庁時、交通安全教育の受講時等に実施

回答者数:1801人

※回答者のうち、年齢、性別、居住地、家族構成の回答に不備がある場合は除外した(1801/1978)

②一般(非高齢者)

実施期間:平成30年10月15～16日

調査対象:愛知県在住の65歳未満の非高齢者

実施方法:ウェブアンケート(楽天インサイト)を実施

回答者数:500人

大項目	小項目	狙い
個人属性	性別、年齢、家族構成、居住地、普段の交通手段、交通補助具の有無、運転免許の所持、過去の事故歴	背景分類
交通安全のニーズ	・手段別(車・徒歩、等) ・空間別(幹線・生活、等) ・状況別(目的、朝夜、等) ・交通安全意識 ・移動の際の不安 ・居住地の印象	重点項目の探索
対策受容性	・公共交通 ・運転免許自主返納 ・安全運転サポート車 ・歩行者保護意識 ・交通安全教育 ・広報方法	対策効果の判断

一般(非高齢者)向けウェブアンケート概要

○調査対象母集団

楽天インサイトに登録するモニター(※1)約220万人(2018年4月時点)のうち、愛知県在住の約14万人

(※1) モニターは楽天の各サービス(市場、カード、証券など)を利用している方。各ウェブページ内にバナーを掲載することにより募集している。

○調査方法

上記母集団に対して、無作為抽出された性別・年齢階層別のモニターに対して調査票(ウェブサイト)を送信し、各年齢階層別の目標サンプル数(※2)の回答を得た段階で募集を完了

(※2) 年齢階層別の目標サンプル数(愛知県の年齢階層別の人口構成比より設定)

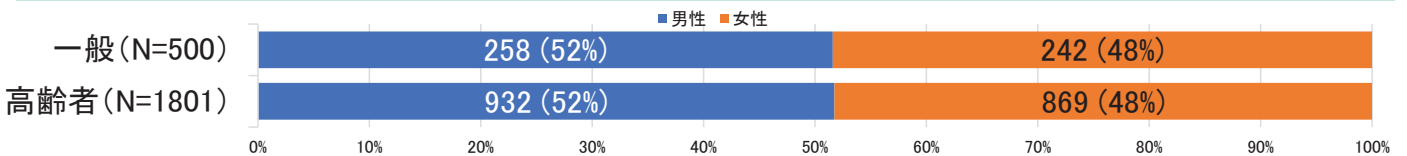
都道府県	性別	年齢	モニター数	目標サンプル数
愛知県	男性	20代	5,002	50
		30代	15,518	60
		40代	24,090	70
		50代	19,267	52
		60-64	4,925	26
	女性	20代	10,506	45
		30代	25,429	55
		40代	22,769	65
		50代	11,849	50
		60-64	2,131	27
			141,486	500

基本属性

個人属性（性別・年齢区分・家族構成）

- 性別：約半数ずつの意見となっている
- 年齢区分：各年代に行き渡った意見となっている
- 家族構成：高齢者は1人暮らし、夫婦2人暮らしが多い

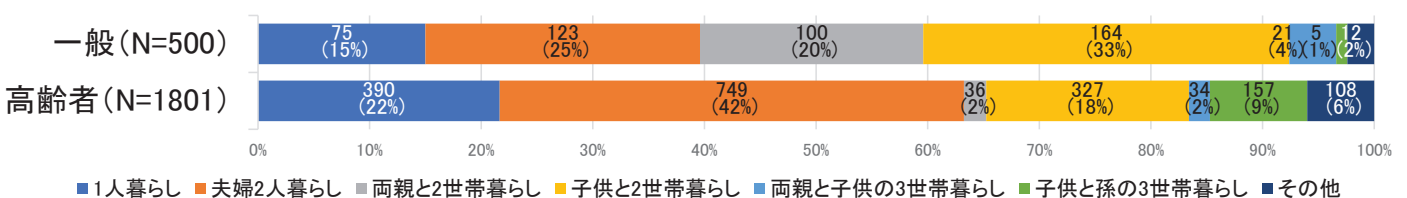
【性別】



【年齢区分】



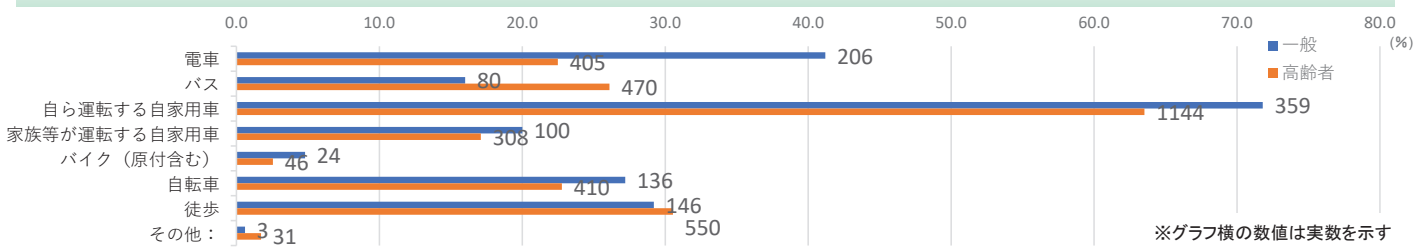
【家族構成】



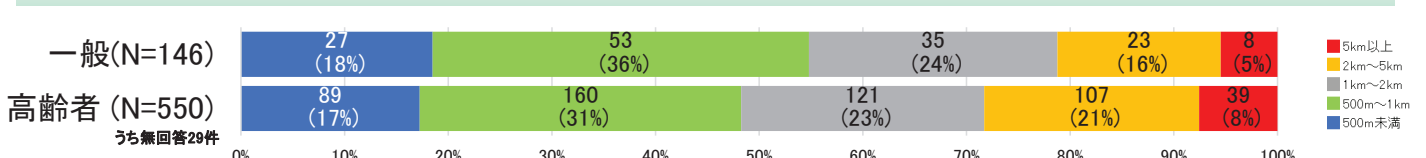
普段の交通手段

- 一般・高齢者ともに自らが運転する自家用車が多く、次いで一般は電車、高齢者は徒歩が高い
- 徒歩移動距離には大きな差はないが、高齢者は自転車移動距離が短い傾向にある

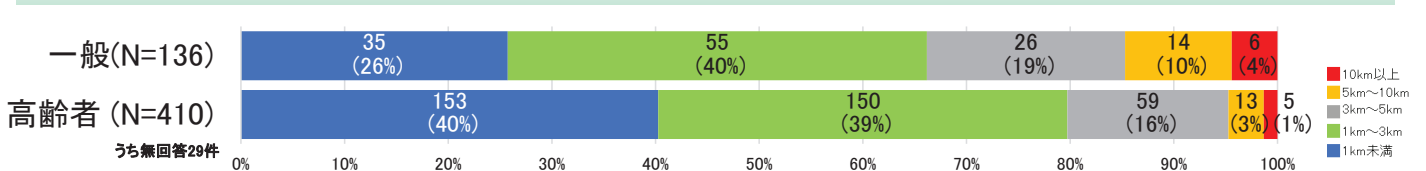
【交通手段】



【徒歩距離】



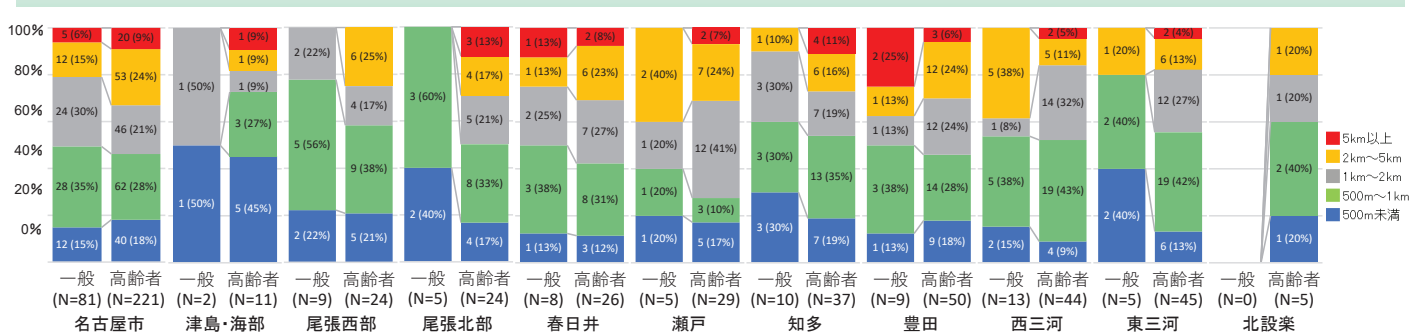
【自転車距離】



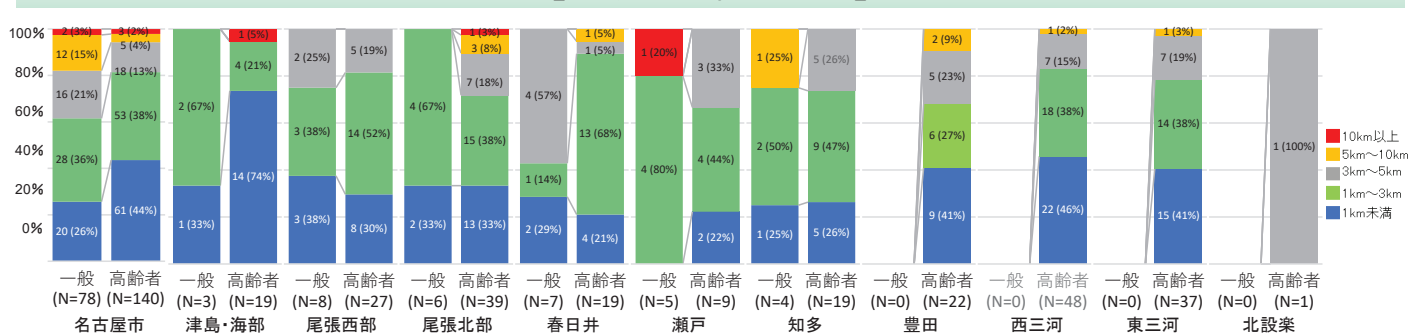
徒歩距離・自転車距離 (地域別)

- 徒歩距離、自転車距離は地域による差はあまりない

【地域別徒歩距離】



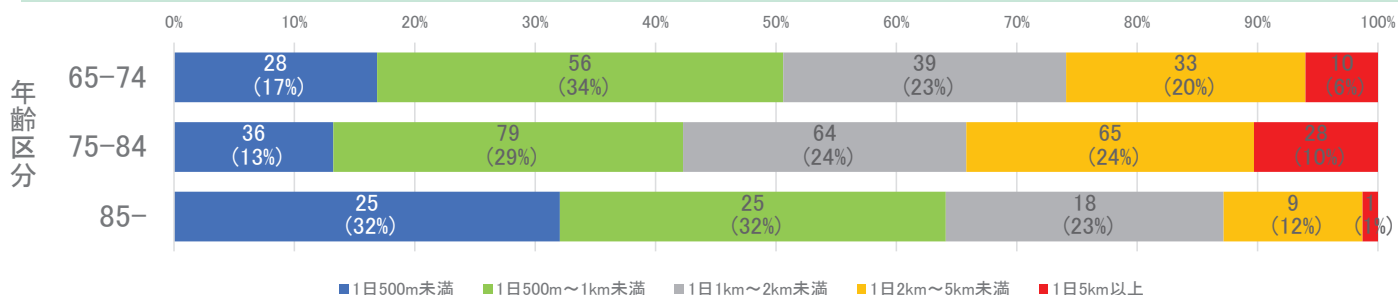
【地域別自転車距離】



徒歩距離・自転車距離（年齢別）

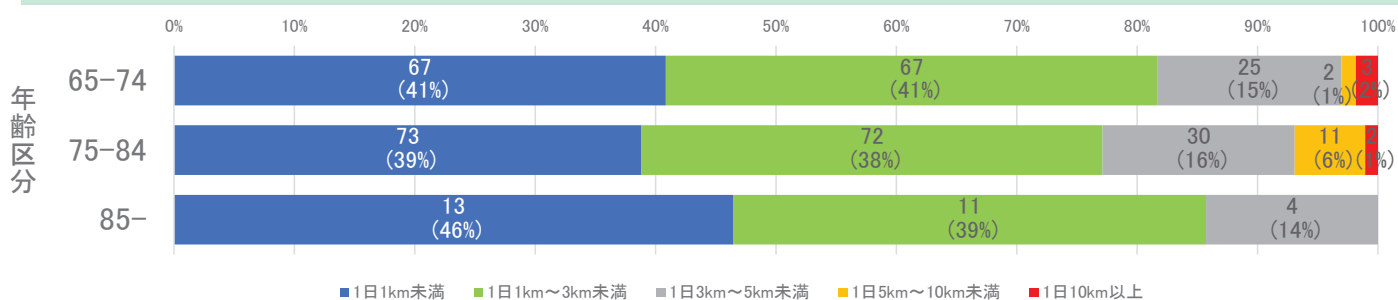
○年齢区分でみると、85歳以上になると、徒歩距離が短くなる傾向にある
 ○自転車距離は85歳以上では、半数程度が1日1km未満の移動を主としている

【年齢区分×徒歩距離】



※主な移動を徒歩としている方へのみの回答

【年齢区分×自転車距離】

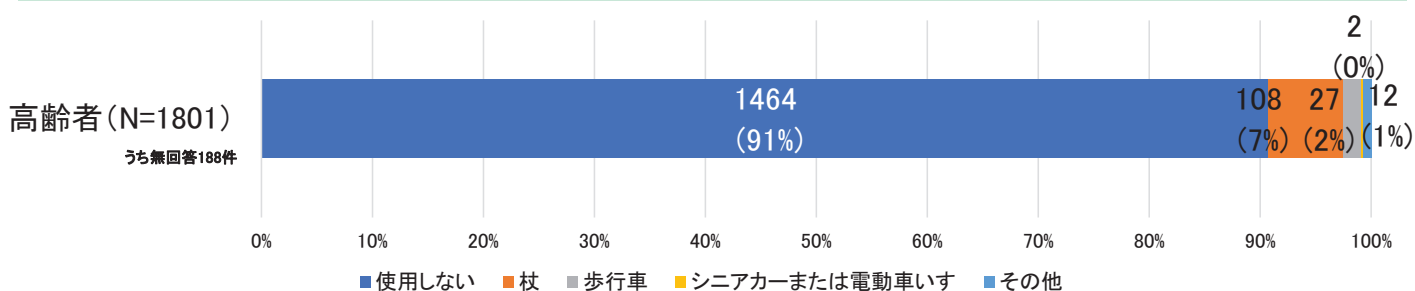


※主な移動を自転車としている方へのみの回答

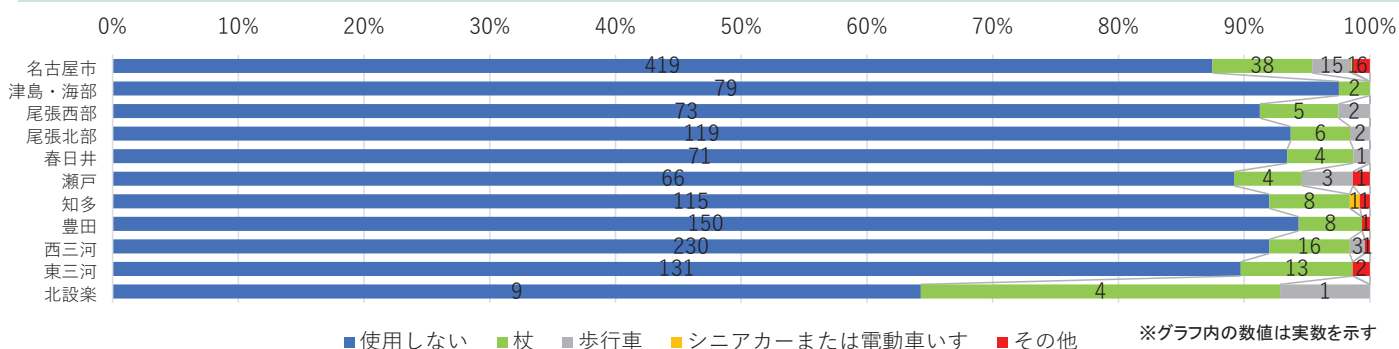
交通補助具

○交通補助具を使わない人が多いが、杖を使っている人も少なからずいる
 ○北設楽は実数は少ないが、杖を使っている割合が高い

【交通補助具】



【地域別交通補助具】

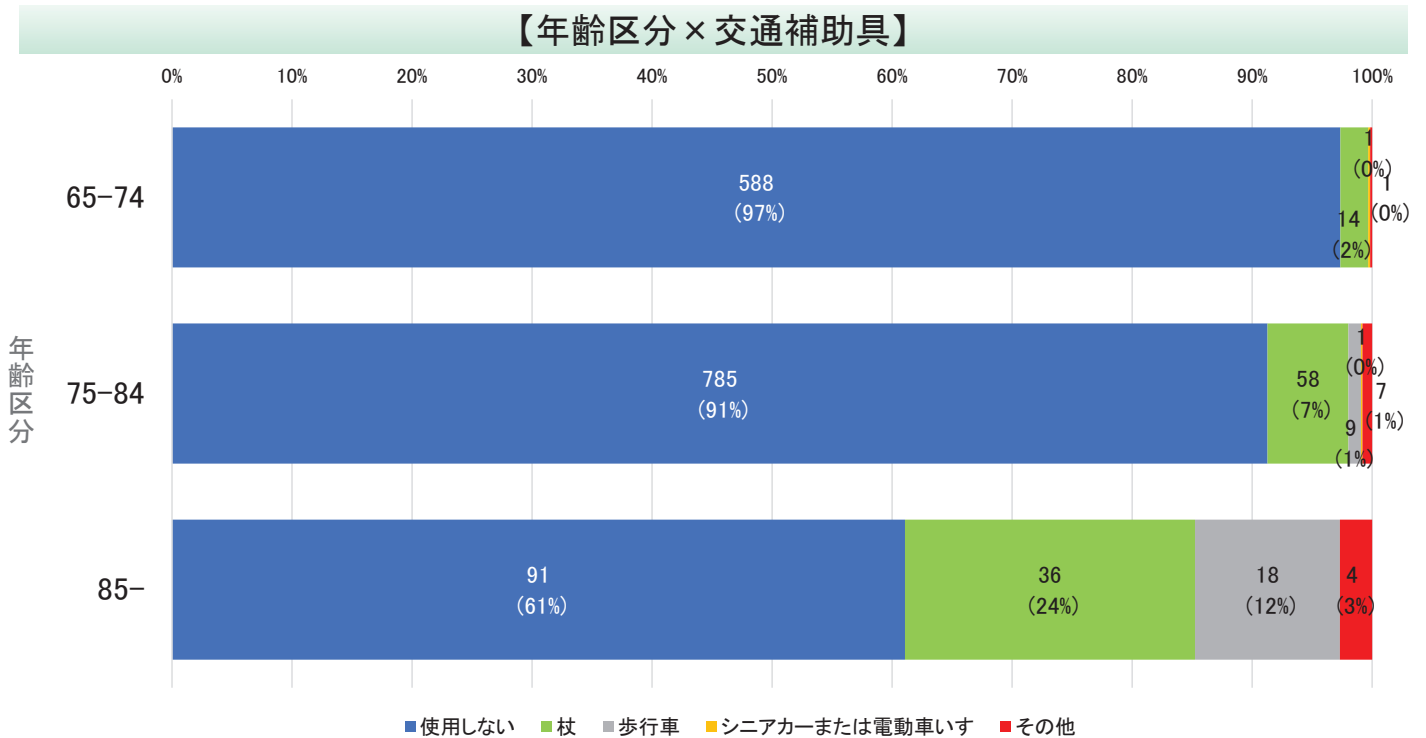


※グラフ内の数値は実数を示す

※総数に対して数が少ないため、四捨五入した場合0%となることもある

交通補助具（年齢別）

○高齢になるにつれて、交通補助具を使用している割合が増加する傾向にあり、特に杖が多い



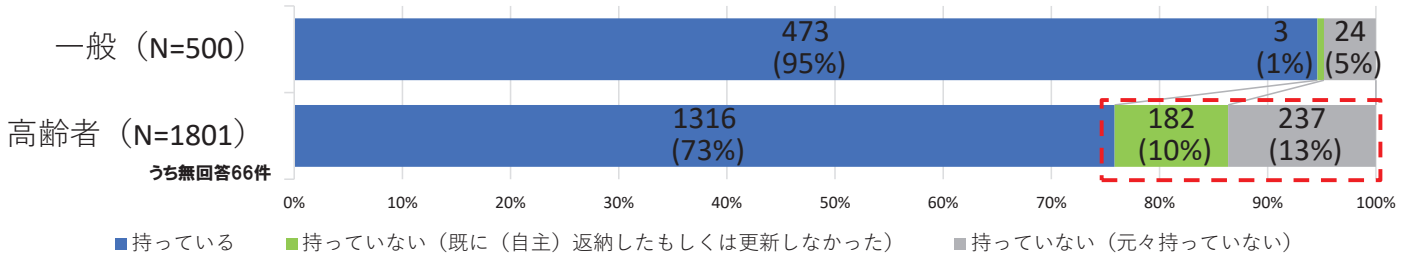
※総数に対して数が少ないため、四捨五入した場合0%となることもある

交通安全に関する状況・意識

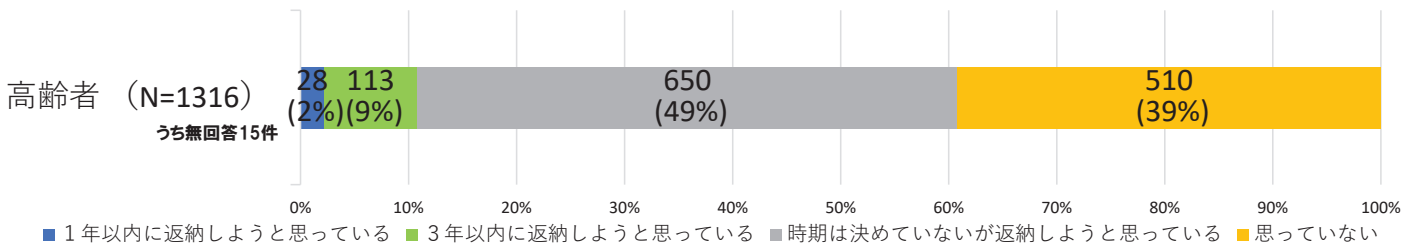
運転免許自主返納

- 高齢者は運転免許を持っていない人が約25%を占めている
 ○運転免許の自主返納について、返納しようと思っている人が60%程度いるが、その内の約8割が返納の時期を決めていないと回答している。

【運転免許所持者】



【自主返納の意思】

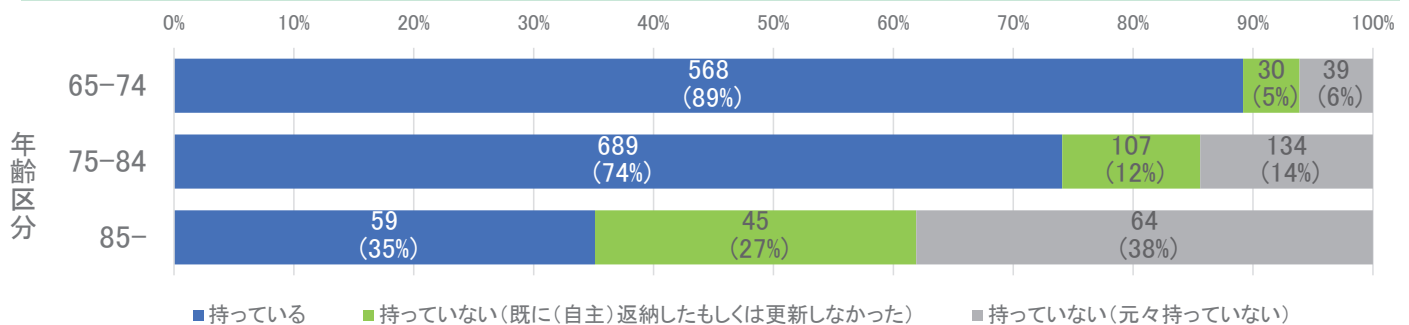


※自主返納の意思は高齢者の運転免許を持っている人へのみ伺っている

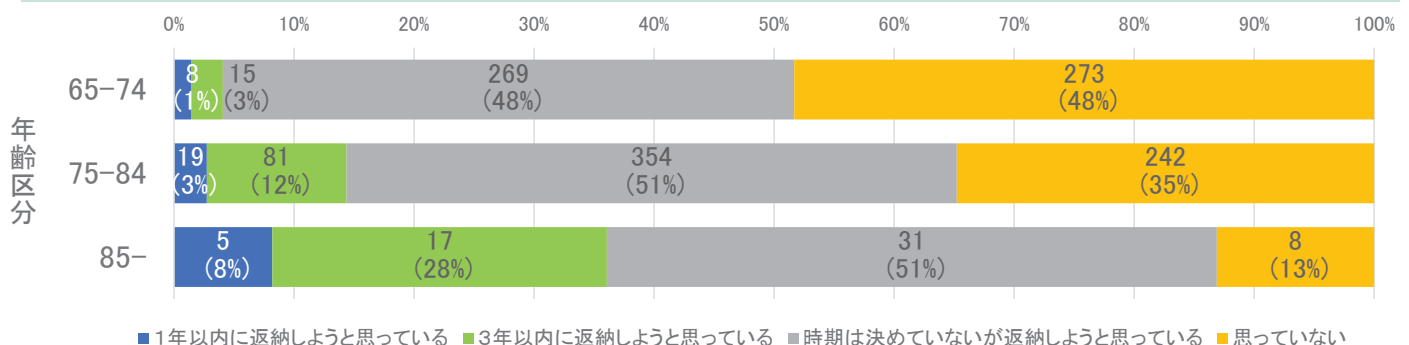
運転免許自主返納（年齢別）

- 高齢になるにつれて免許証を所持していない割合が増加している
 ○85歳以上では「3年以内に返納しようと思っている」割合が約4割を占める（1年以内を含む）

【年齢区分×運転免許所持者】



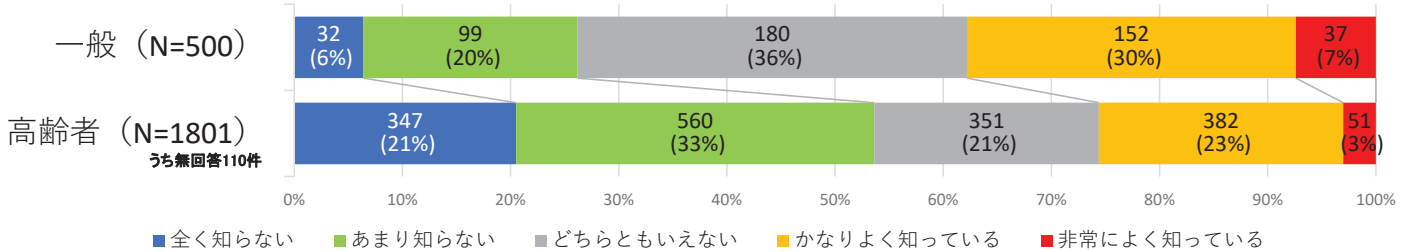
【年齢区分×自主返納の意思】



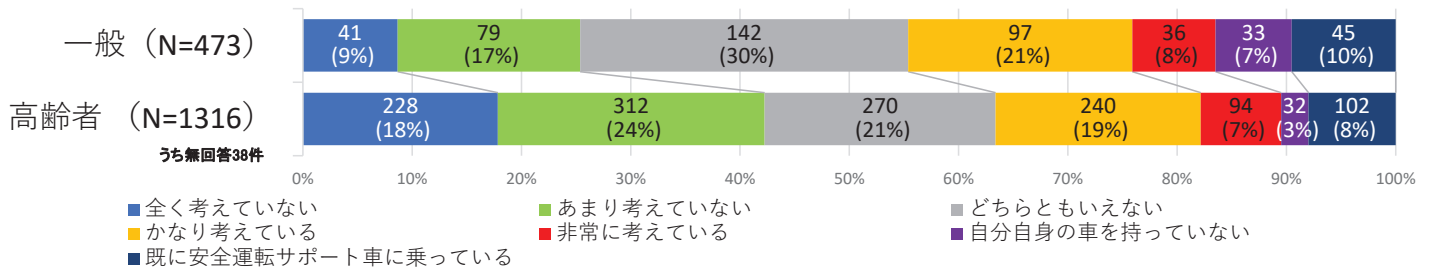
安全運転サポート車の認知及び乗り換え

○安全運転サポート車について、高齢者は半数以上が知らないと回答しており、一般より知らない割合が高い
 ○約40%の高齢者は安全運転サポート車への乗り換えを考えていない

【安全運転サポート車】



【安全運転サポート車への乗り換え】

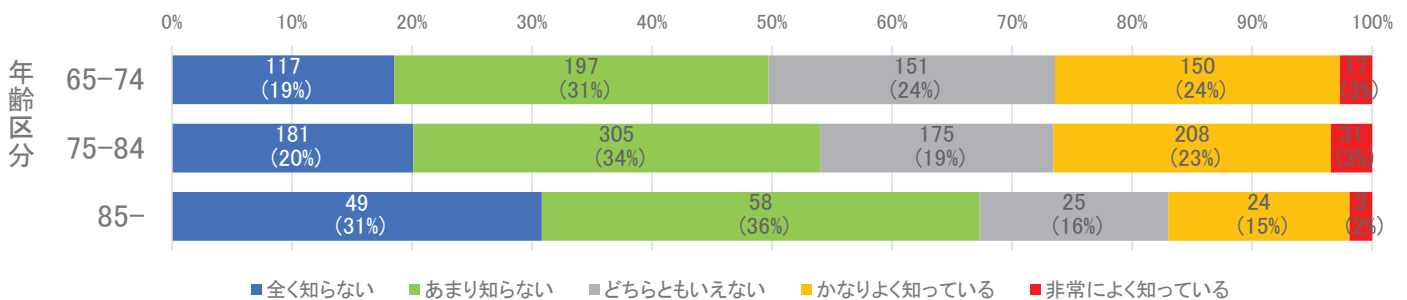


安全運転サポート車への乗り換えは運転免許を持っている人にもみ合っている

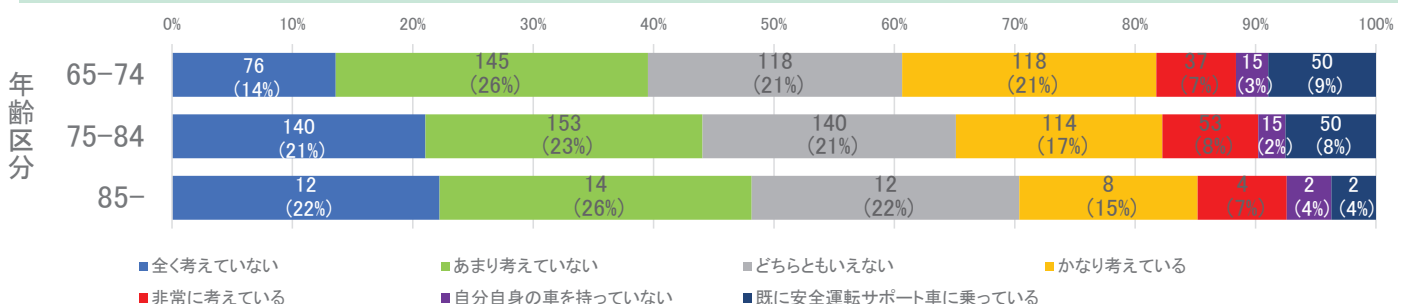
安全運転サポート車の認知及び乗り換え（年齢別）

○高齢になるにつれて安全運転サポート車について、知らない割合が高くなる傾向にある
 ○安全運転サポート車への乗り換えについて、高齢になるにつれて乗り換えを考えていない割合が増加している

【年齢区分×安全運転サポート車】

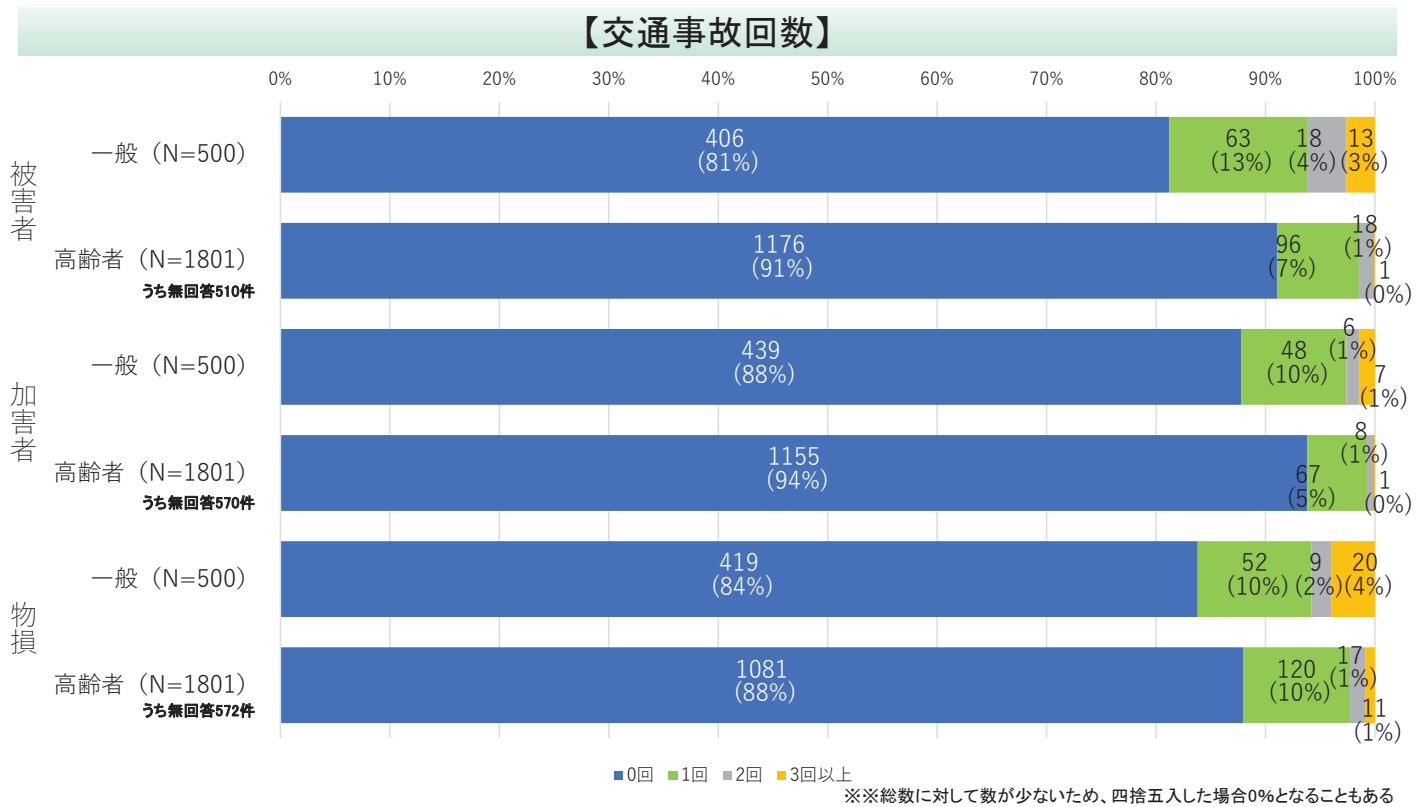


【年齢区分×安全運転サポート車への乗り換え】



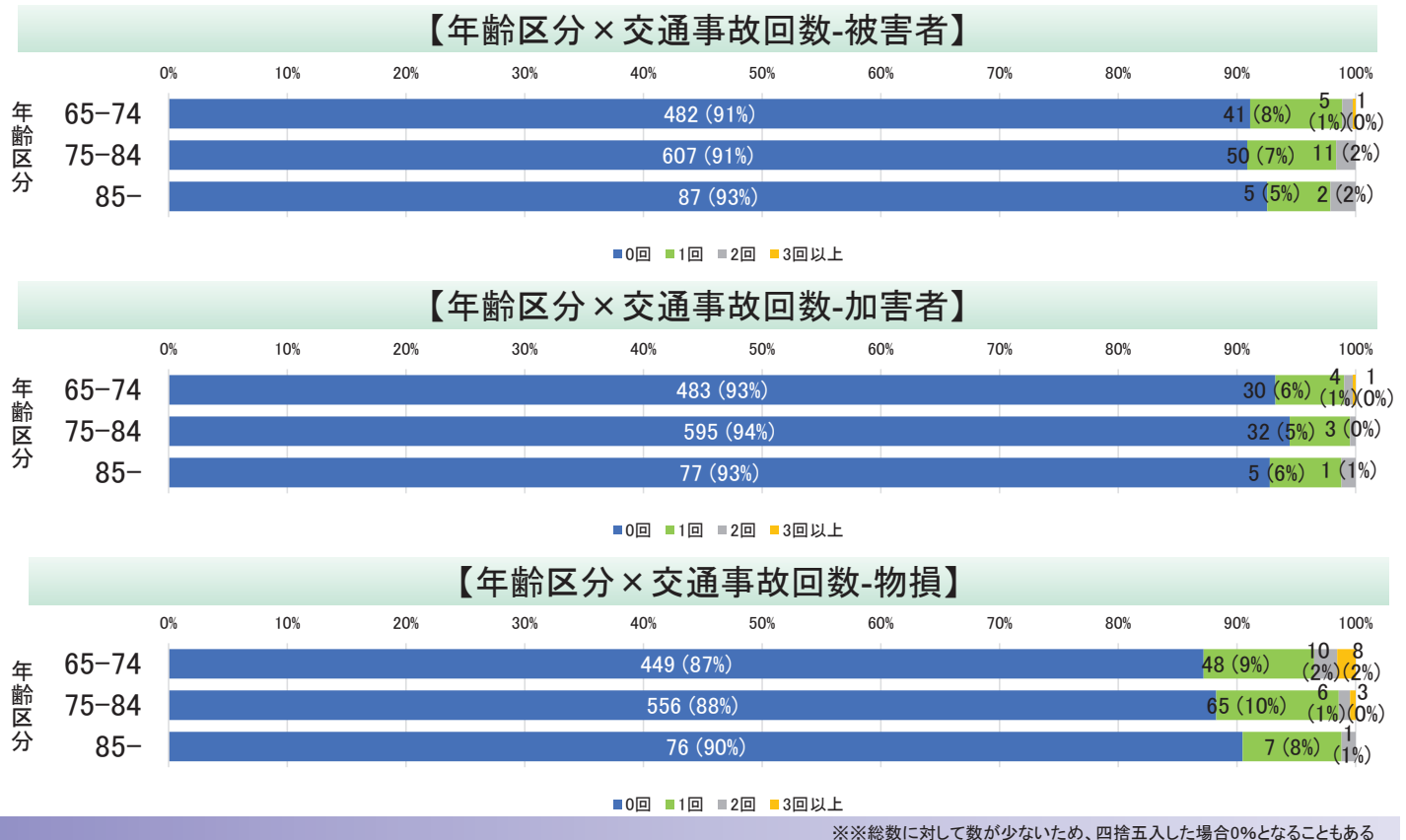
交通事故回数

○交通事故回数を見ると、一般より高齢者のほうが事故経験割合が低い



交通事故回数（年齢別）

○年齢による交通事故回数に大きな違いはない

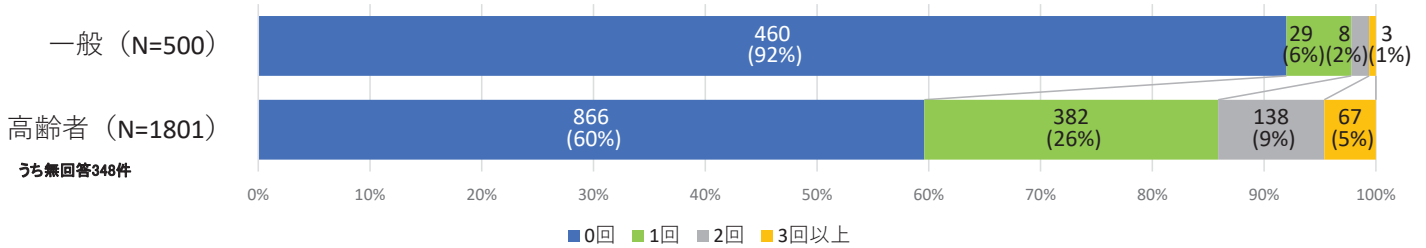


講習会受講回数と交通安全意識

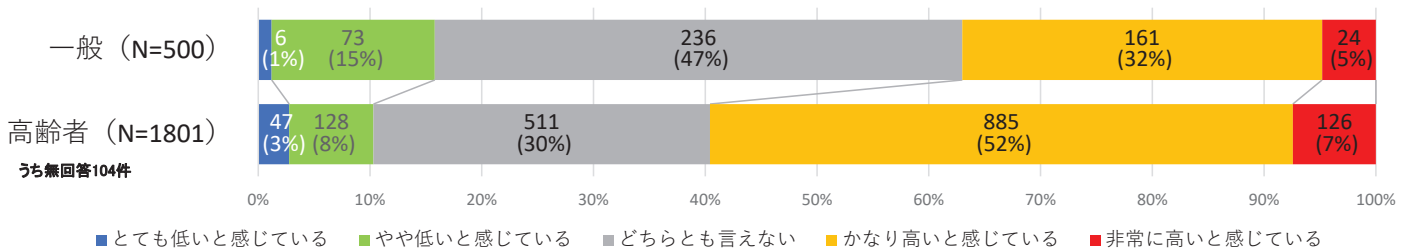
- 高齢者のほうが講習を受講している割合が高く、約40%の高齢者が1回以上講習を受講している
- 高齢者の50%以上は自身の交通安全意識が高いと感じている

【講習会受講回数】

※この1年間で参加した交通安全に関する講習会やイベントの回数
(運転免許更新時の講習を除く)



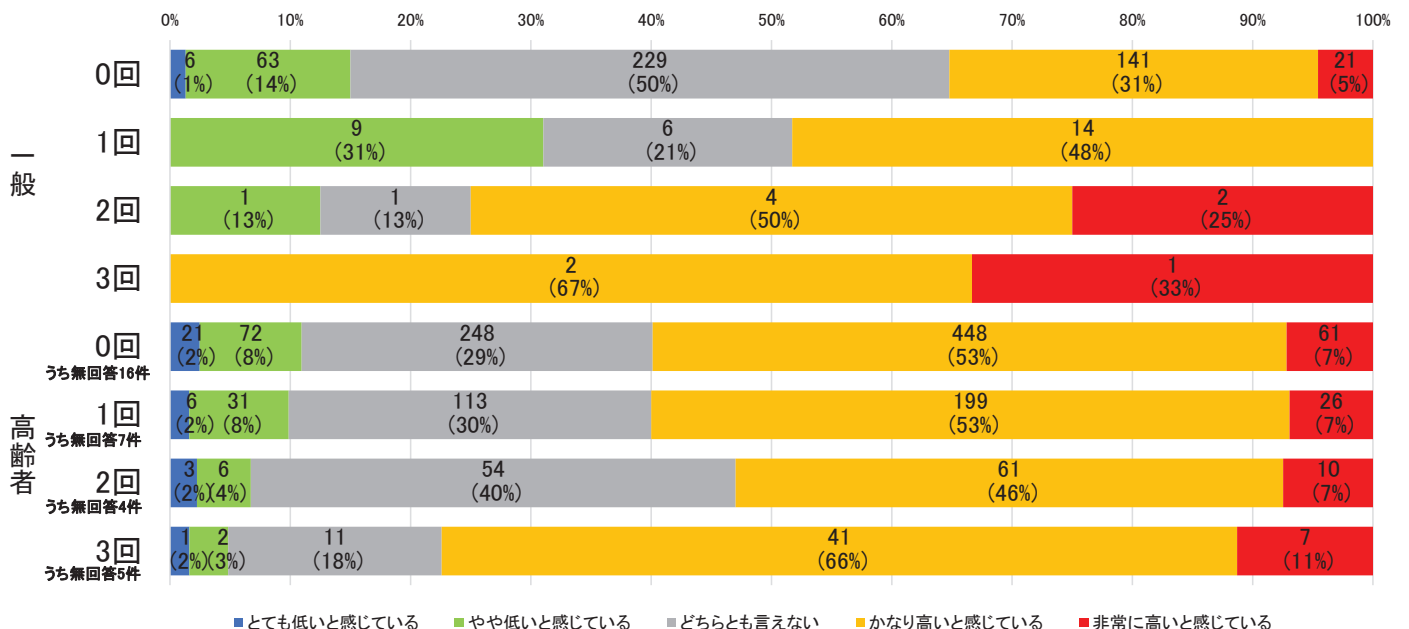
【交通安全意識】



講習会受講回数と交通安全意識（クロス集計）

- 一般は、講習会受講回数を重ねるごとに交通安全意識が高くなっているが、高齢者は受講回数が0回であっても自身の交通安全意識が高いと感じている割合が高い

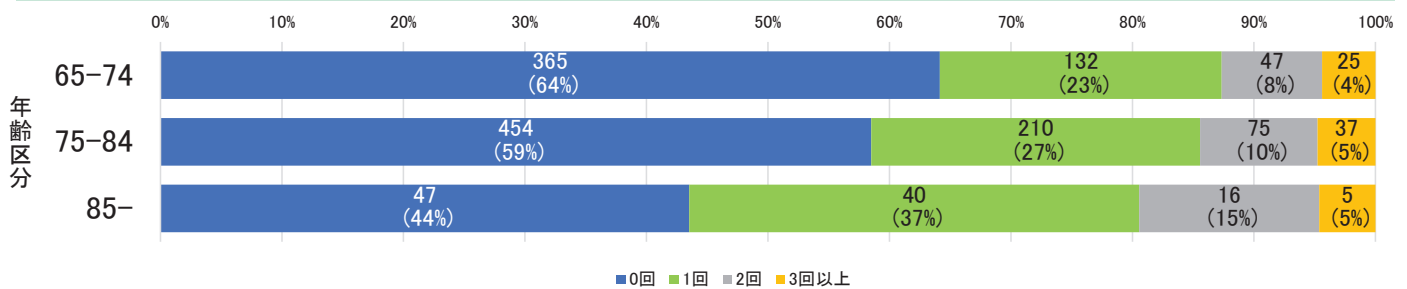
【講習会受講回数×交通安全意識】



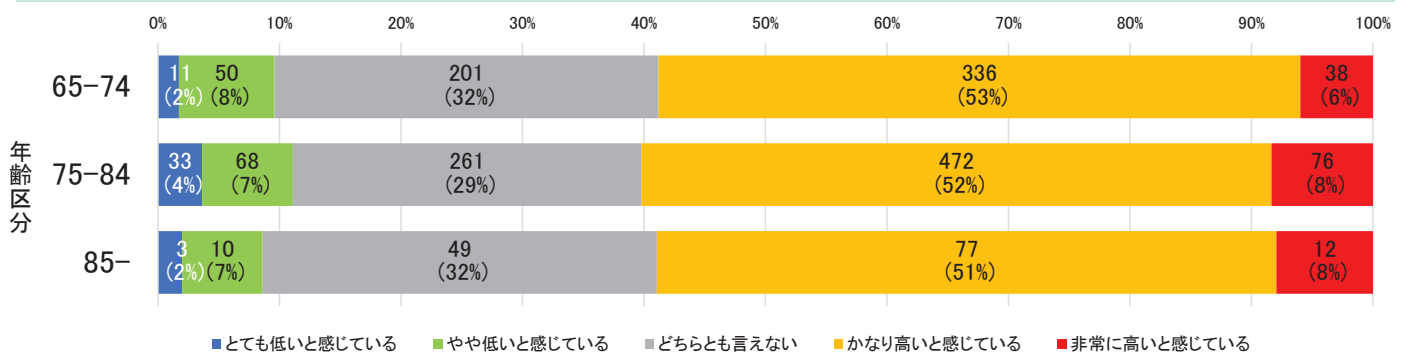
講習会受講回数と交通安全意識（年齢別）

○高齢になるにつれて、交通安全講習会を1回以上受けている割合が増加している
 ○高齢者の年齢区分では大きな違いはない

【年齢区分×講習会受講回数】



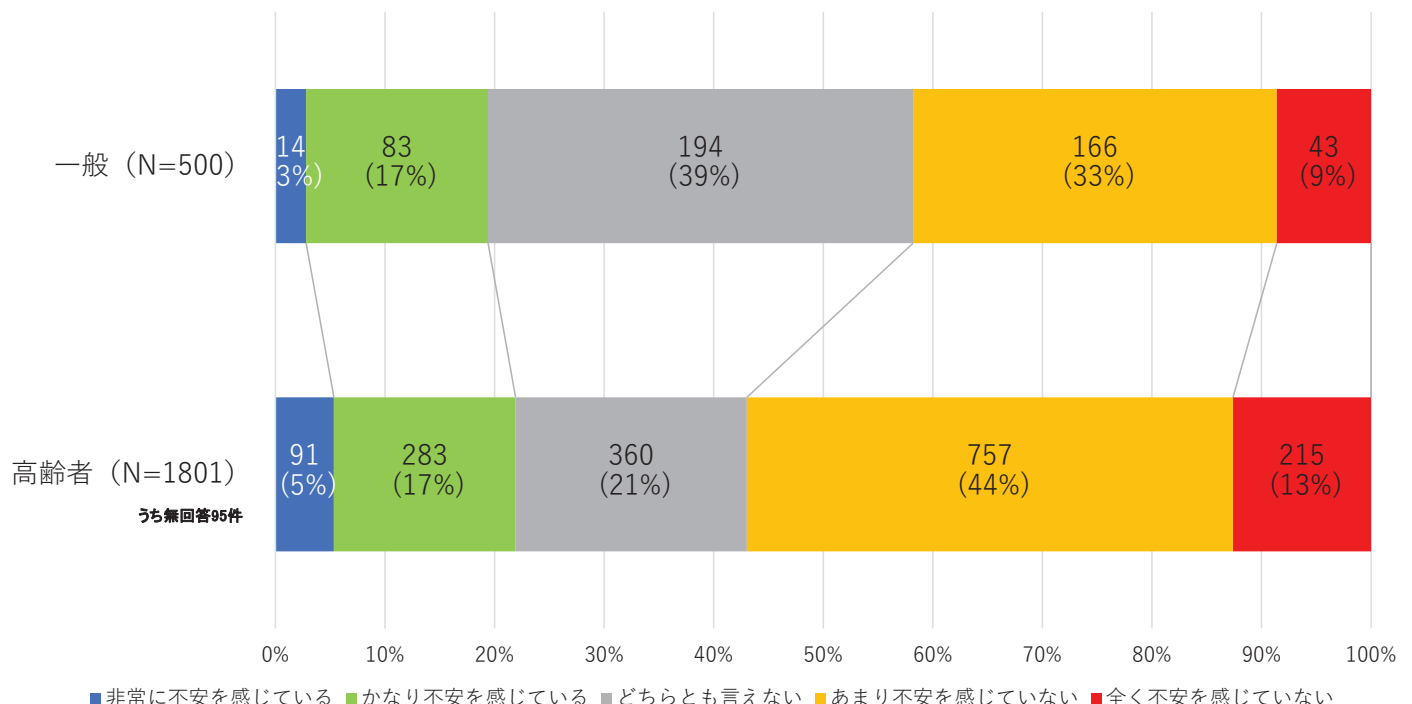
【年齢区分×交通安全意識】



移動の際の不安

○高齢者のほうが移動する際に非常に不安を感じている割合が高いが、不安を感じていない割合も高い

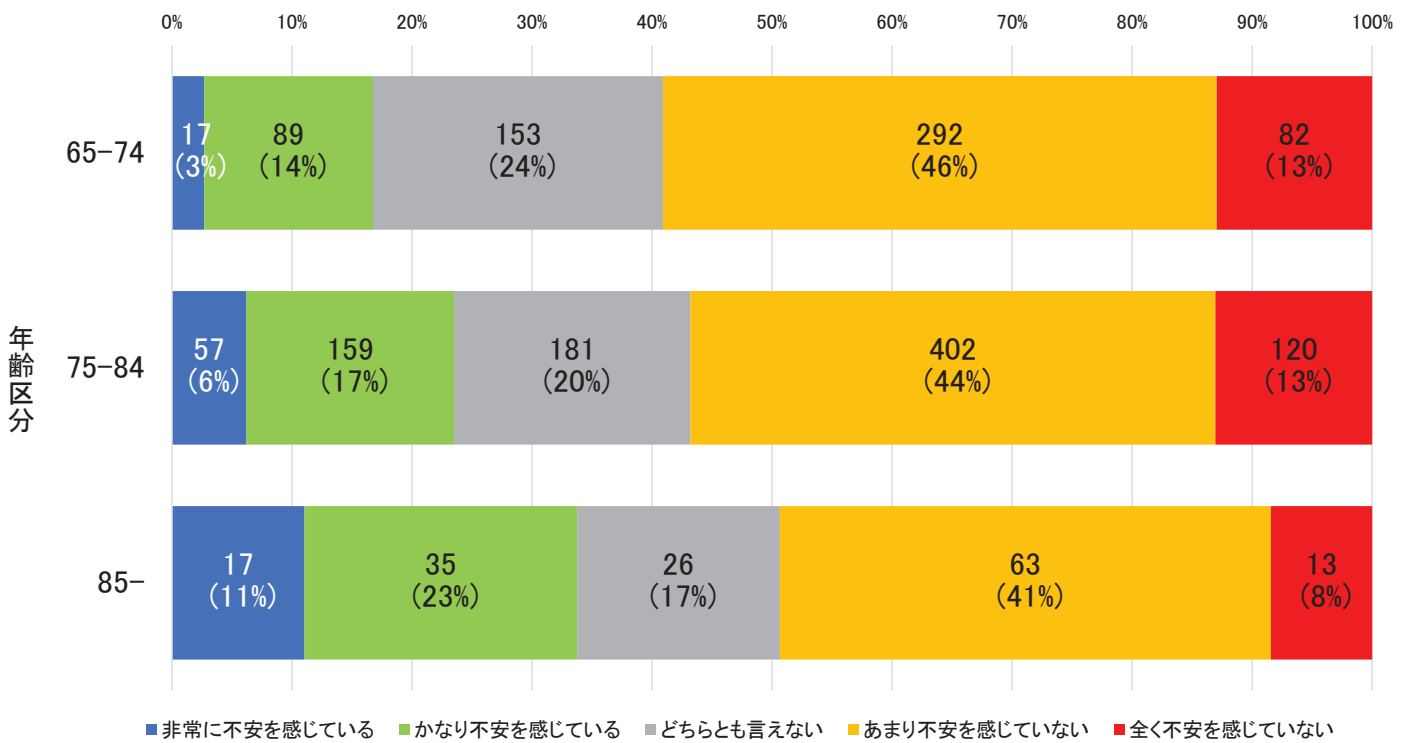
【移動する際、不安を感じる】



移動の際の不安（年齢別）

○高齢になるにつれて、日常生活上の不安を感じている割合が多くなる傾向にある

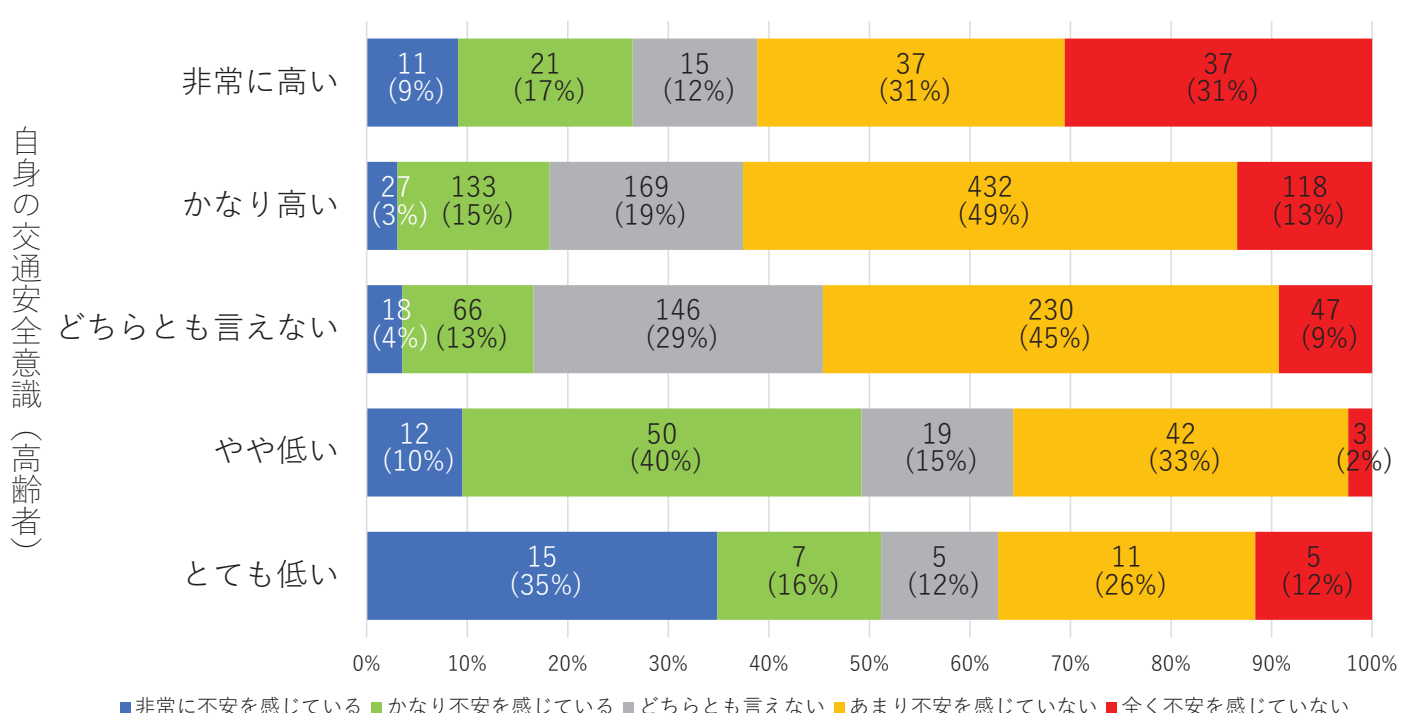
【年齢区分 × 不安の有無】



移動の際の不安（交通安全意識別）

○自身の交通安全意識が低いと感じているほうが、日常生活上の不安を感じている傾向にある

【交通安全意識 × 不安の有無】

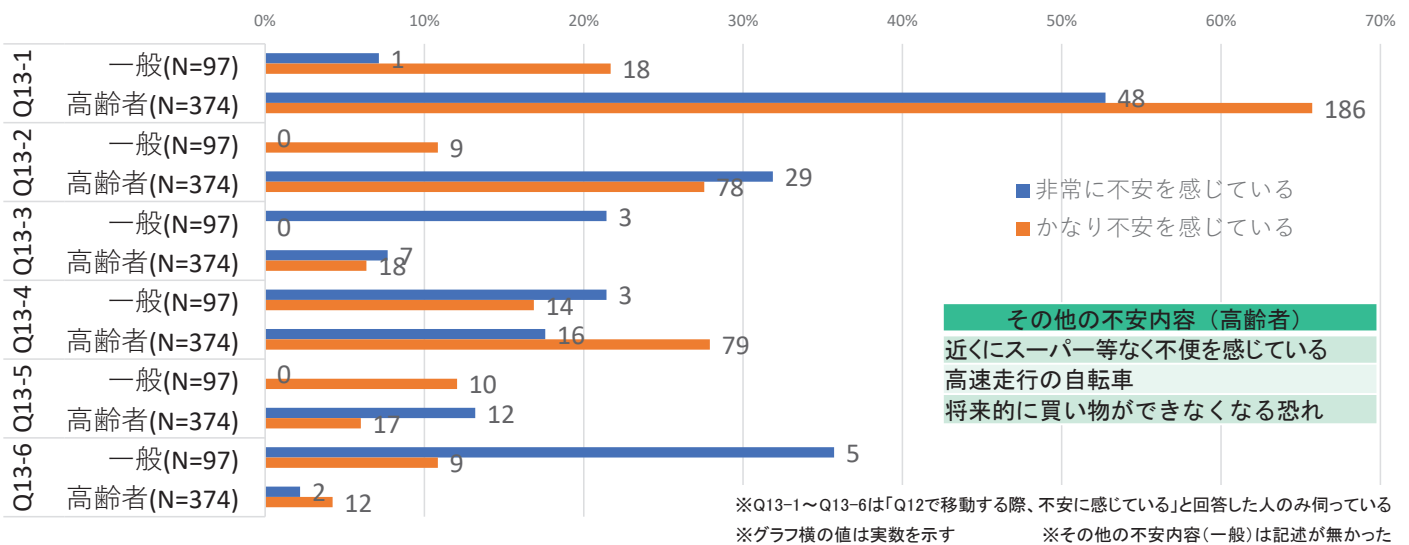


移動の際の不安（不安の内容）

○不安の内容として、高齢者では「交通マナーやルールを守らない人が多く、怖い思いをする」が最も多く、次に「公共交通が整備されておらず、移動が困難」が多い

【不安内容】

- Q13-1 交通マナー・ルールを守らない人が多くて、移動中に怖い思いをすること
- Q13-2 鉄道やバス等の公共交通があまり整備されておらず、車につかえない場合に移動ができなくなる
- Q13-3 鉄道やバスについてその使い方がよくわからないこと
- Q13-4 視力や聴力、体力などが低下し、移動がしづらくなること
- Q13-5 家族などの手助けを借りないと買物等に行けないこと
- Q13-6 その他:



まとめ～交通安全に関する自身の状況・意識

主な交通手段

・一般・高齢者ともに自らが運転する自家用車が多く、次いで一般は電車、高齢者は徒歩の割合が高い

運転免許自主返納

・運転免許の自主返納について、返納しようと思っている人が60%程度いるが、その内の約8割が返納の時期を決めていないと回答している

・85歳以上では「3年以内に返納しようと思っている」割合が約4割を占める

安全運転サポート車

・安全運転サポート車について、高齢者は半数以上が知らないと回答しており、高齢になるにつれて乗り換えを考えていない割合が増加している

・約40%の高齢者は安全運転サポート車への乗り換えを考えていない

講習会受講回数と交通安全意識

・一般は、講習会受講回数を重ねるごとに交通安全意識が高くなっているが、高齢者は受講回数が0回においても自身の交通安全意識が高いと感じている割合が高い

移動の際の不安

・高齢者のほうが移動する際に非常に不安を感じている割合が高いが、不安を感じていない割合も高い

・不安の内容として、高齢者では「交通マナーやルールを守らない人が多く、怖い思いをする」が最も多く、次に「公共交通が整備されておらず、移動が困難」が多い

住んでいる地域の印象

※第5回中京都市圏パーソントリップ調査における区分けによる地域別傾向を整理

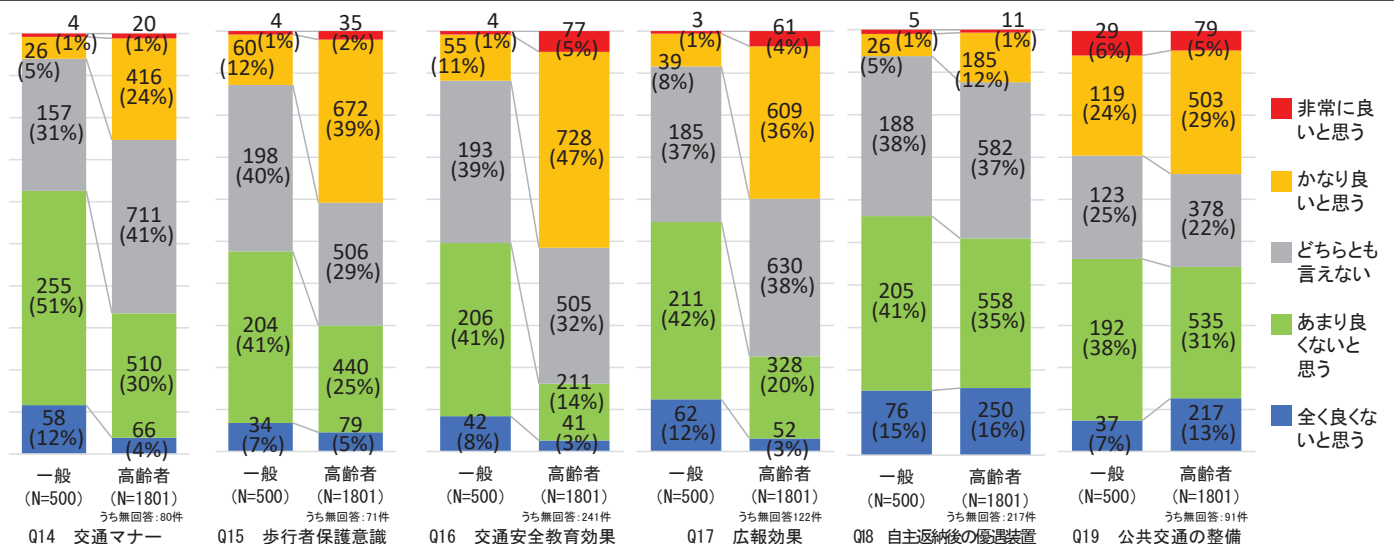
- 名古屋市
- 津島・海部(津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛鳥村)
- 尾張西部(一宮市、稲沢市、清須市)
- 尾張北部(犬山市、江南市、小牧市、岩倉市、北名古屋市、大口町、扶桑町)
- 春日井(春日井市、豊山町)
- 瀬戸(瀬戸市、尾張旭市)
- 知多(半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町)
- 豊田(豊田市、日進市、みよし市、長久手市、東郷町)
- 西三河(岡崎市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、高浜市、豊明市、知立市、幸田町)
- 東三河(豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市)
- 北設楽(設楽町、東栄町、豊根村)

住んでいる地域の印象

○全ての項目において一般よりも高齢者のほうが「良いと思う」の回答割合が高い

【住んでいる地域の印象】

- Q14.あなたはあなたの住んでいる地域の交通マナーについてどう思いますか。
 Q15.あなたの住む地域を通るドライバーは、あなたが安全に横断歩道を渡るために停まってくれたり、自車の速度を遅くしたりしてくれますか。
 Q16.あなたは運転免許の更新時や地域で取り組まれている交通安全教育の内容や方法について効果があると思いますか。
 Q17.あなたは現在行われている交通安全に関わる広報の内容や方法(ポスターの掲示やチラシの配布、ラジオ広報等)に効果があると思いますか。
 Q18.あなたの住む地域では、運転免許を返納した後の多様な優遇措置(運転経歴証明書提示によるコミュニティバスの割引や飲食店での割引など)など運転免許の自主返納がしやすい環境が整っていると思いますか。
 Q19.あなたの住む地域ではバス、電車等の公共交通が十分整備されていると思いますか。

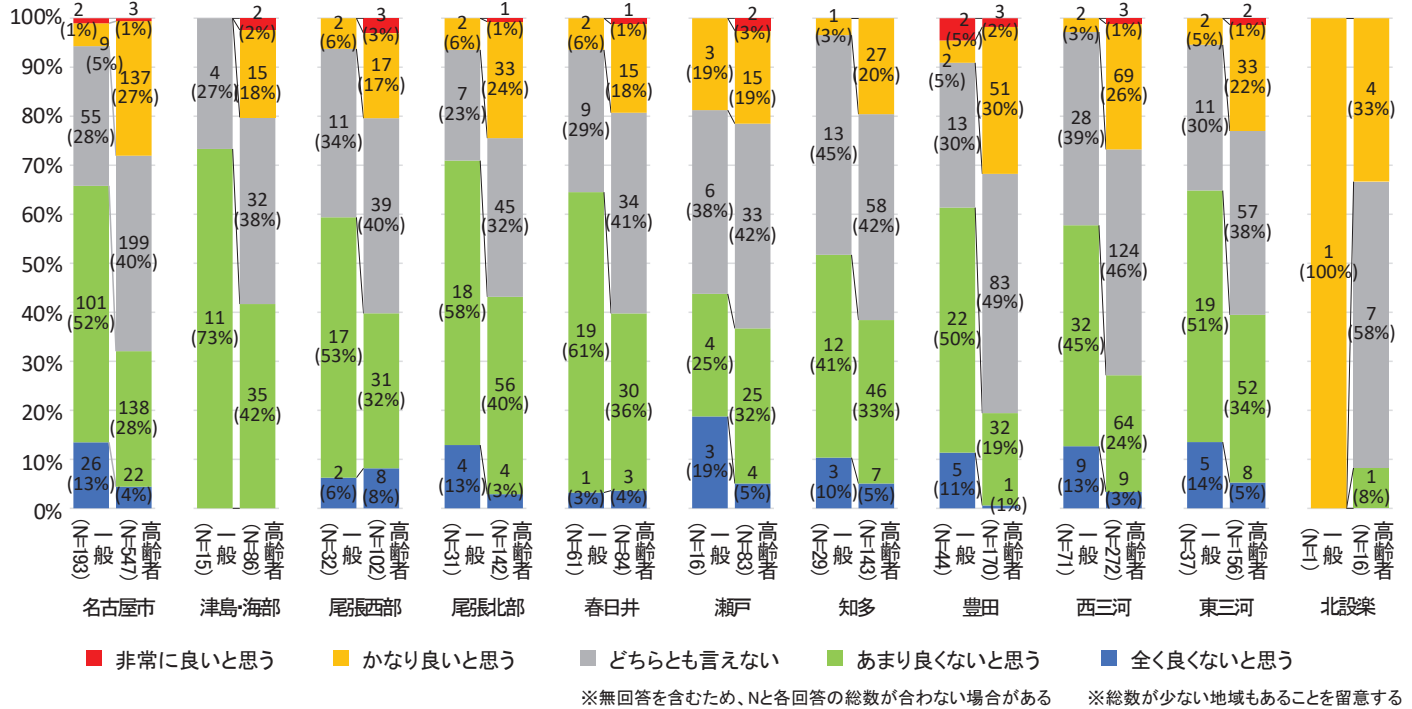


交通マナー（地域別）

○豊田・西三河の高齢者は、居住地域の交通マナーについて「良くない」と回答する割合が低い

【交通マナー】

Q14.あなたはあなたの住んでいる地域の交通マナーについてどう思いますか。

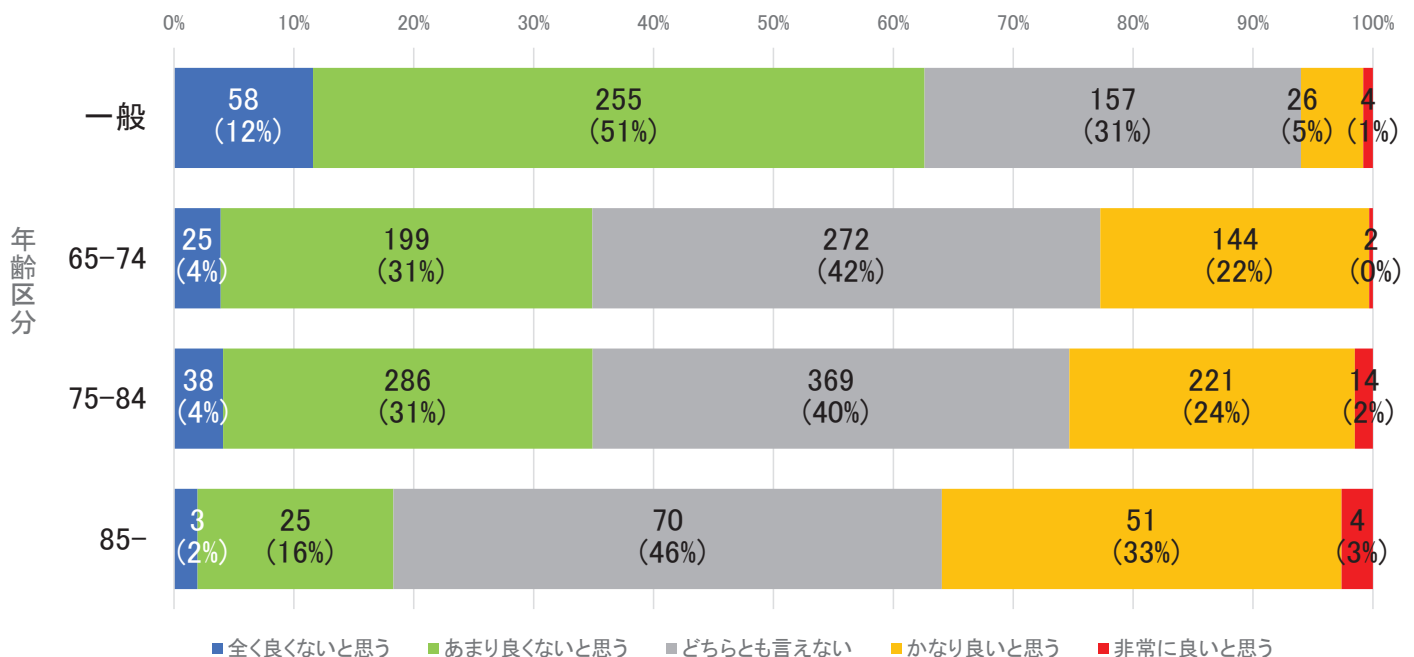


交通マナー（年齢別）

○高齢になるにつれて、居住地域の交通マナーをよく思っている傾向にある

【年齢区分×交通マナー】

Q14.あなたはあなたの住んでいる地域の交通マナーについてどう思いますか。

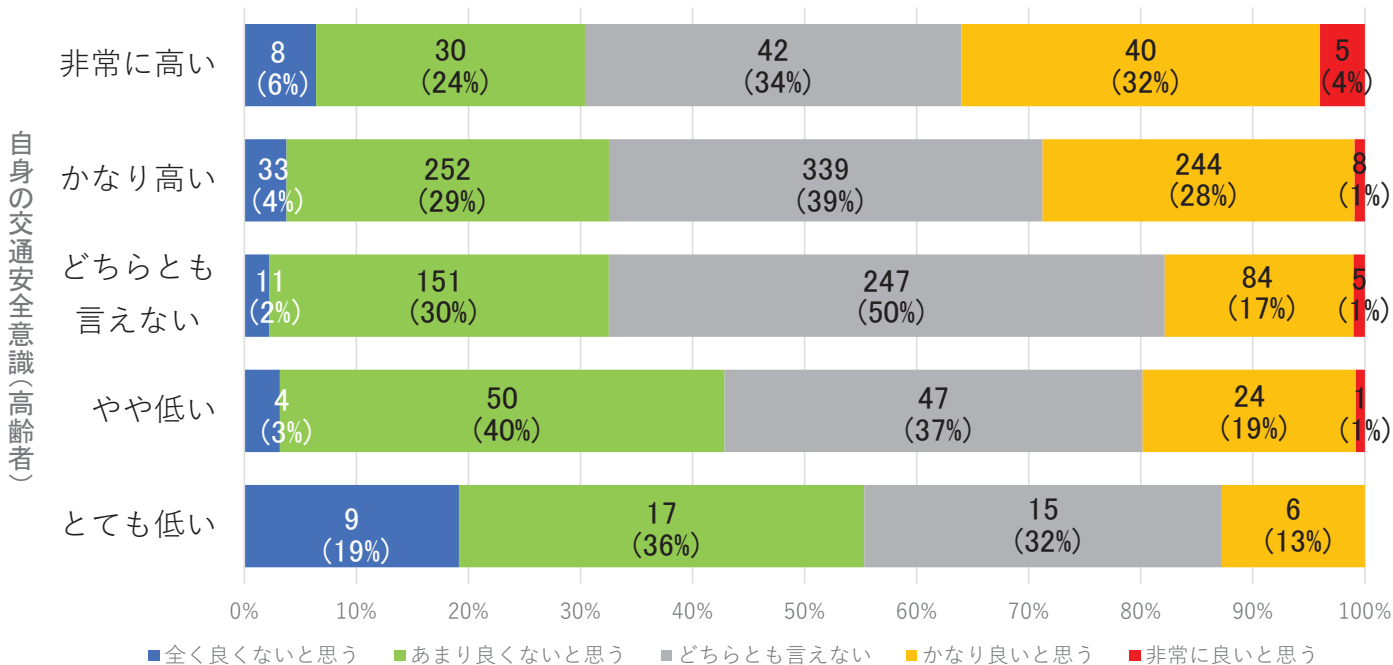


交通マナー（交通安全意識別）

○自身の交通安全意識が低くなるにつれて、居住地域の交通マナーが良くないと回答している割合が増加している

【交通安全意識×交通マナー】

Q14.あなたはあなたの住んでいる地域の交通マナーについてどう思いますか。

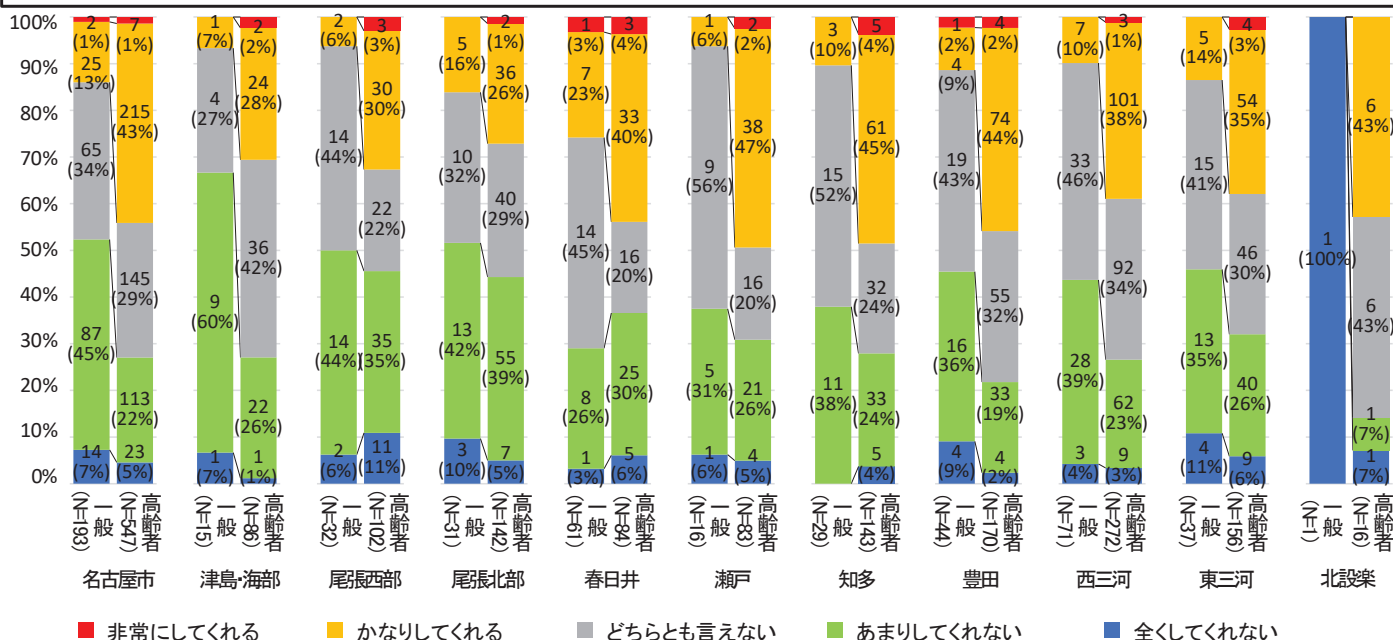


ドライバーの歩行者保護意識（地域別）

○尾張西部、尾張北部は、他の地域に比べて一般、高齢者ともにドライバーの歩行者保護意識が良くないと回答している割合が高い

【ドライバーの歩行者保護意識】

Q15.あなたの住む地域を通るドライバーは、あなたが安全に横断歩道を渡るために停まってくれたり、自車の速度を遅くしたりしてくれますか。



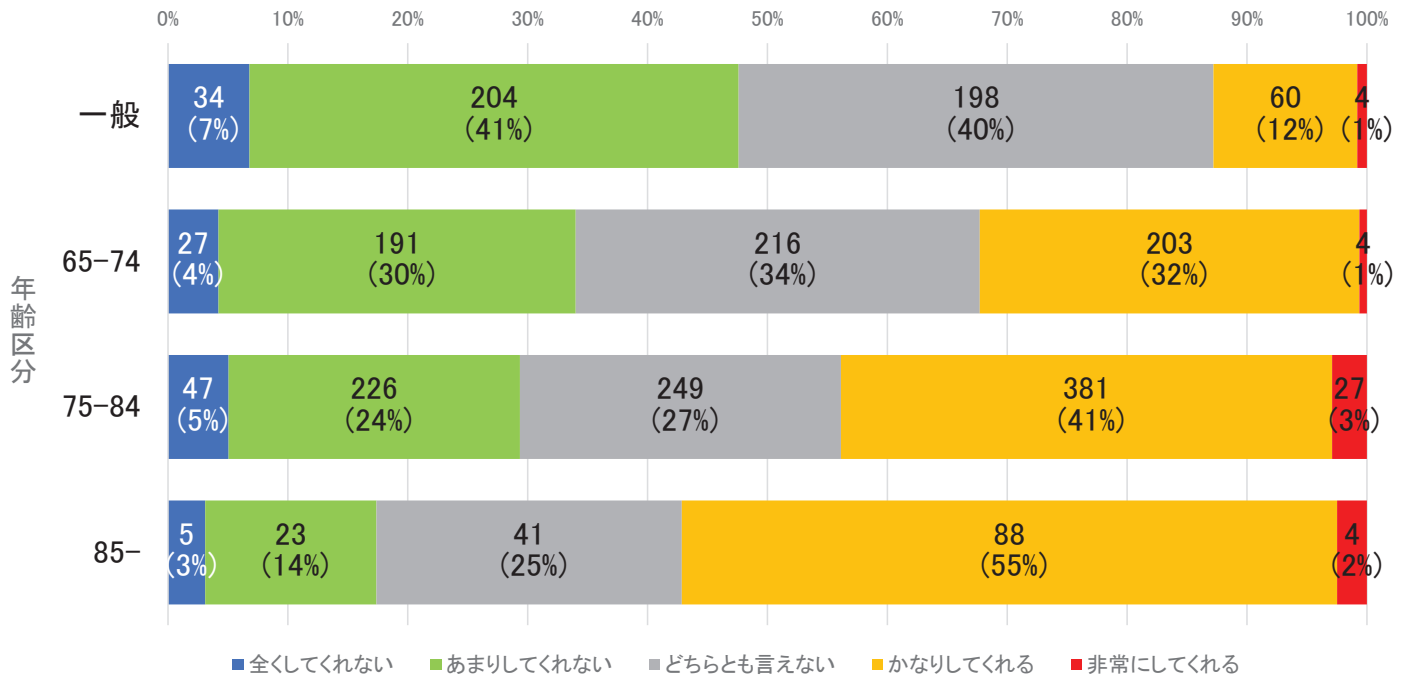
※無回答を含むため、Nと各回答の総数が合わない場合がある ※総数が少ない地域もあることを留意する

ドライバーの歩行者保護意識（年齢別）

○ドライバーの歩行者保護意識は、高齢になるにつれて評価が高まる

【年齢区分×ドライバーの歩行者保護意識】

Q15.あなたの住む地域を通るドライバーは、あなたが安全に横断歩道を渡るために止まってくれたり、自車の速度を遅くしたりしてくれますか。

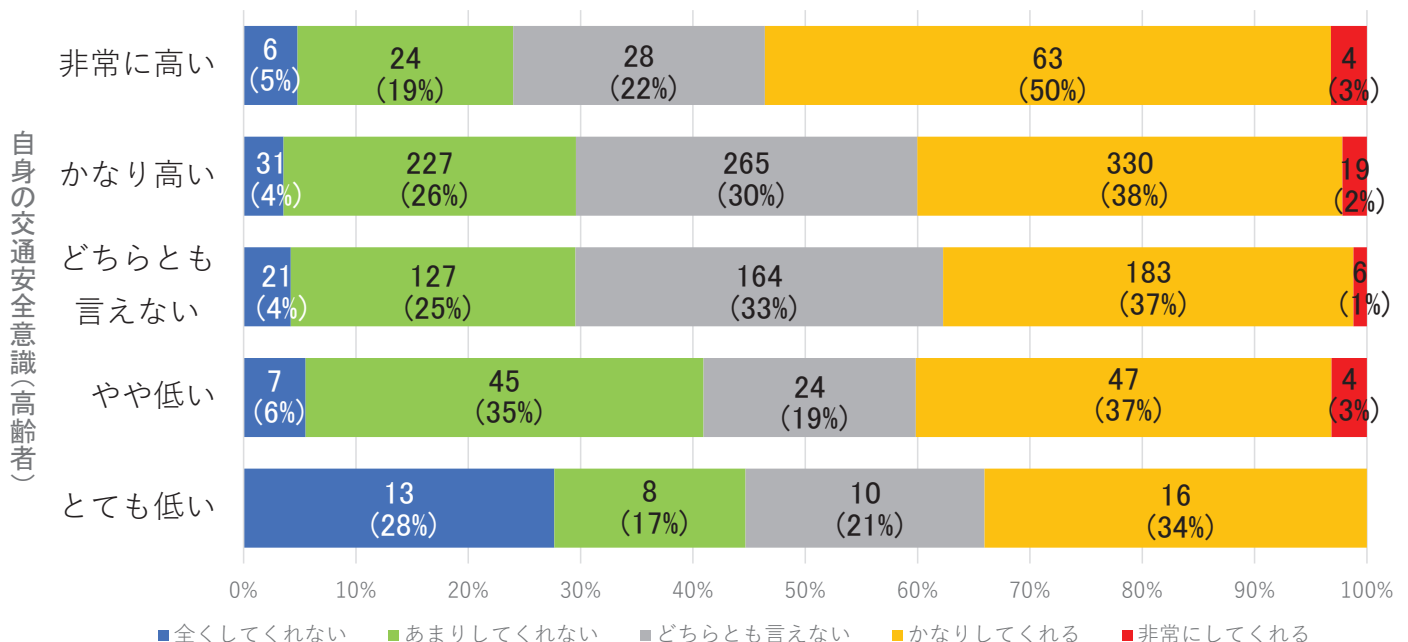


ドライバーの歩行者保護意識（交通安全意識別）

○自身の交通安全意識が高い方が、ドライバーの歩行者保護意識が良いと感じている割合が高い

【交通安全意識×ドライバーの歩行者保護意識】

Q15.あなたの住む地域を通るドライバーは、あなたが安全に横断歩道を渡るために止まってくれたり、自車の速度を遅くしたりしてくれますか。

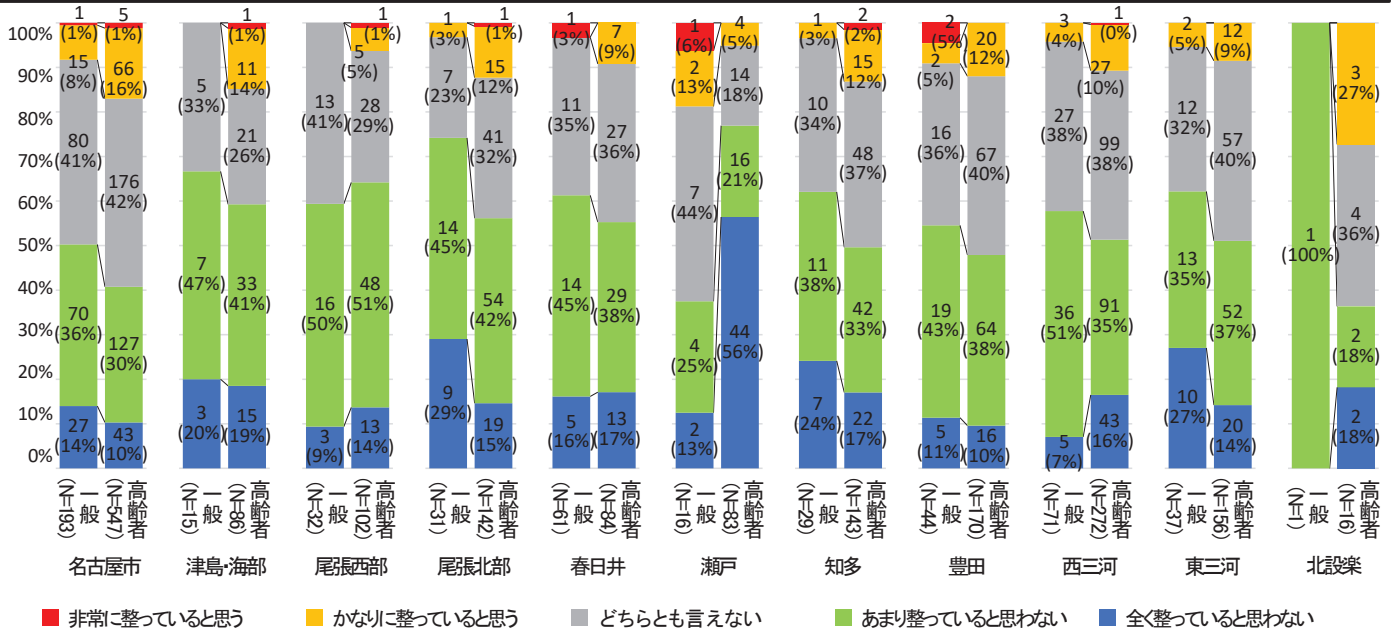


自主返納後の優遇措置（地域別）

○尾張西部、瀬戸で、高齢者が整っていないと回答している割合が高い

【運転免許自主返納後の優遇措置】

Q18.あなたの住む地域では、運転免許を返納した後の多様な優遇措置（運転経歴証明書提示によるコミュニティバスの割引や飲食店での割引など）など運転免許の自主返納がしやすい環境が整っていると思いますか。



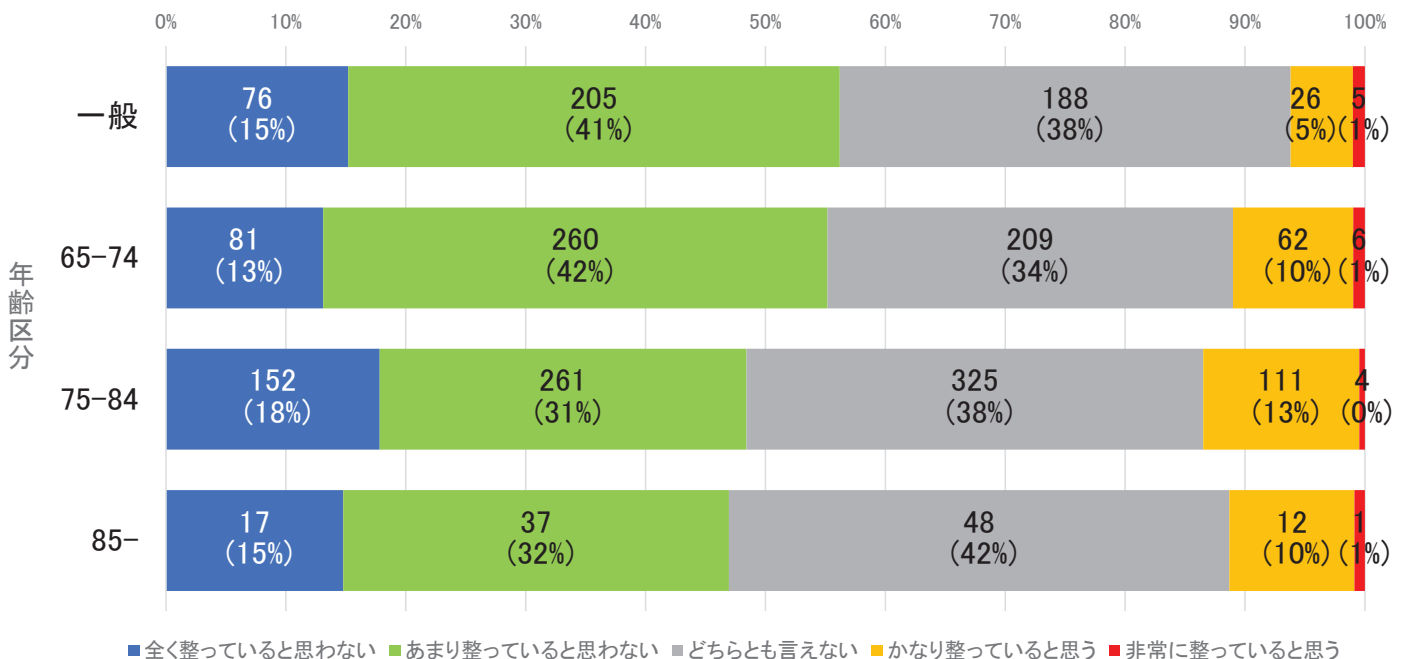
※無回答を含むため、Nと各回答の総数が合わない場合がある ※総数が少ない地域もあることを留意する

自主返納後の優遇措置（年齢別）

○運転免許を自主返納しやすい環境は、高齢になるにつれて、より整っていると回答している

【年齢区分×運転免許自主返納後の優遇措置】

Q18.あなたの住む地域では、運転免許を返納した後の多様な優遇措置（運転経歴証明書提示によるコミュニティバスの割引や飲食店での割引など）など運転免許の自主返納がしやすい環境が整っていると思いますか。



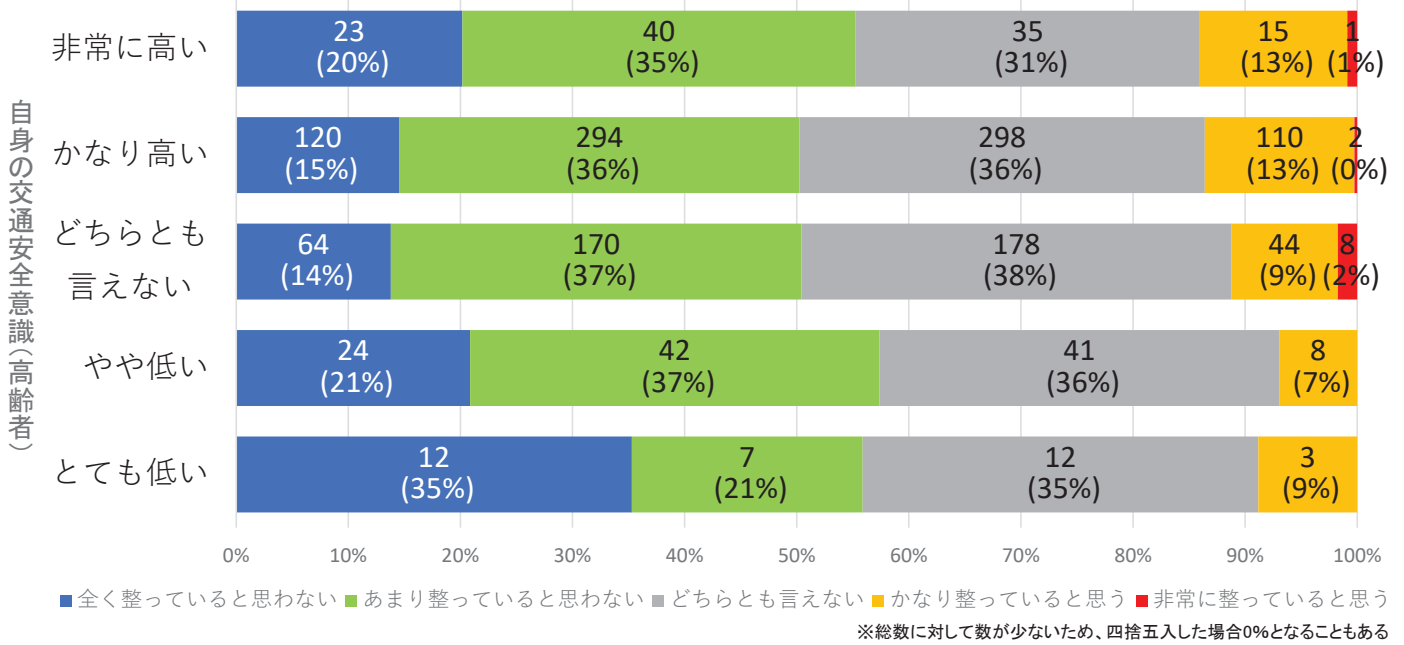
※※総数に対して数が少ないため、四捨五入した場合0%となることもある

自主返納後の優遇措置（交通安全意識別）

○交通安全意識が低い方は、自主返納後の優遇措置が「全く整っているとは思わない」と回答している割合が高い

【交通安全意識×運転免許自主返納後の優遇措置】

Q18.あなたの住む地域では、運転免許を返納した後の多様な優遇措置（運転経歴証明書提示によるコミュニティバスの割引や飲食店での割引など）など運転免許の自主返納がしやすい環境が整っていると思いますか。

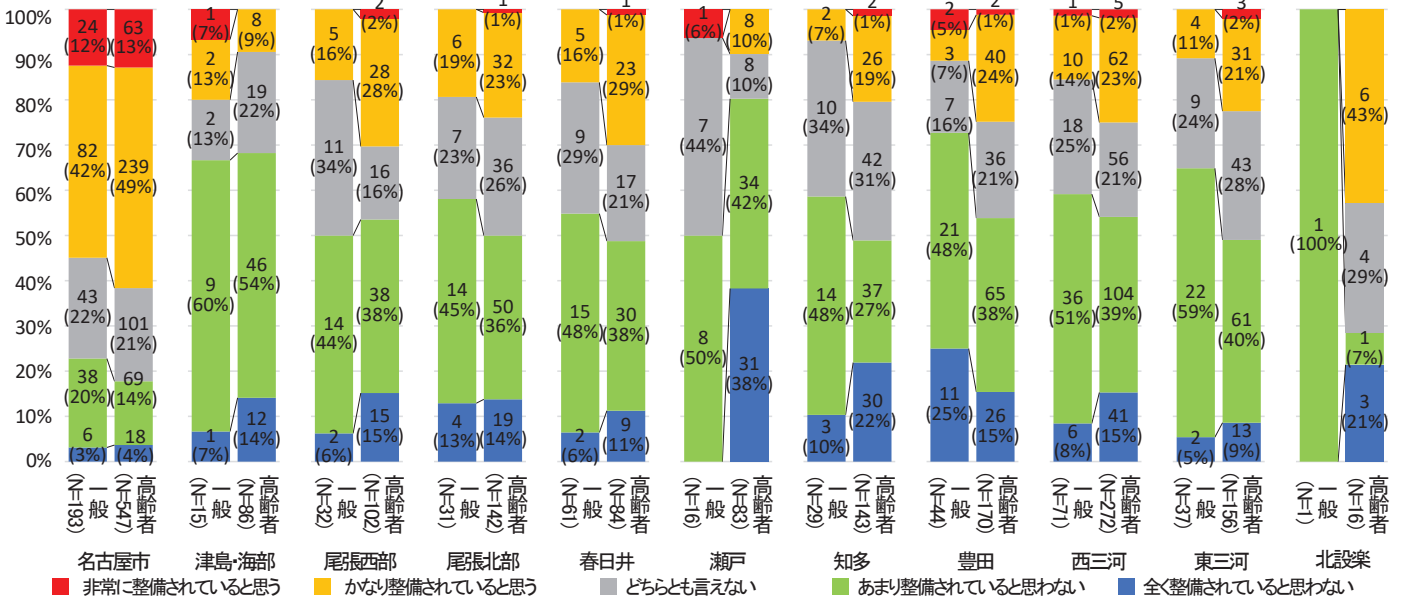


公共交通の整備状況（地域別）

○名古屋市では整備状況の評価が高い
○津島・海部、尾張西部、瀬戸では特に高齢者において、「整備されていると思わない」とする回答割合が高い

【公共交通】

Q19.あなたの住む地域ではバス、電車等の公共交通が十分整備されていると思いますか。

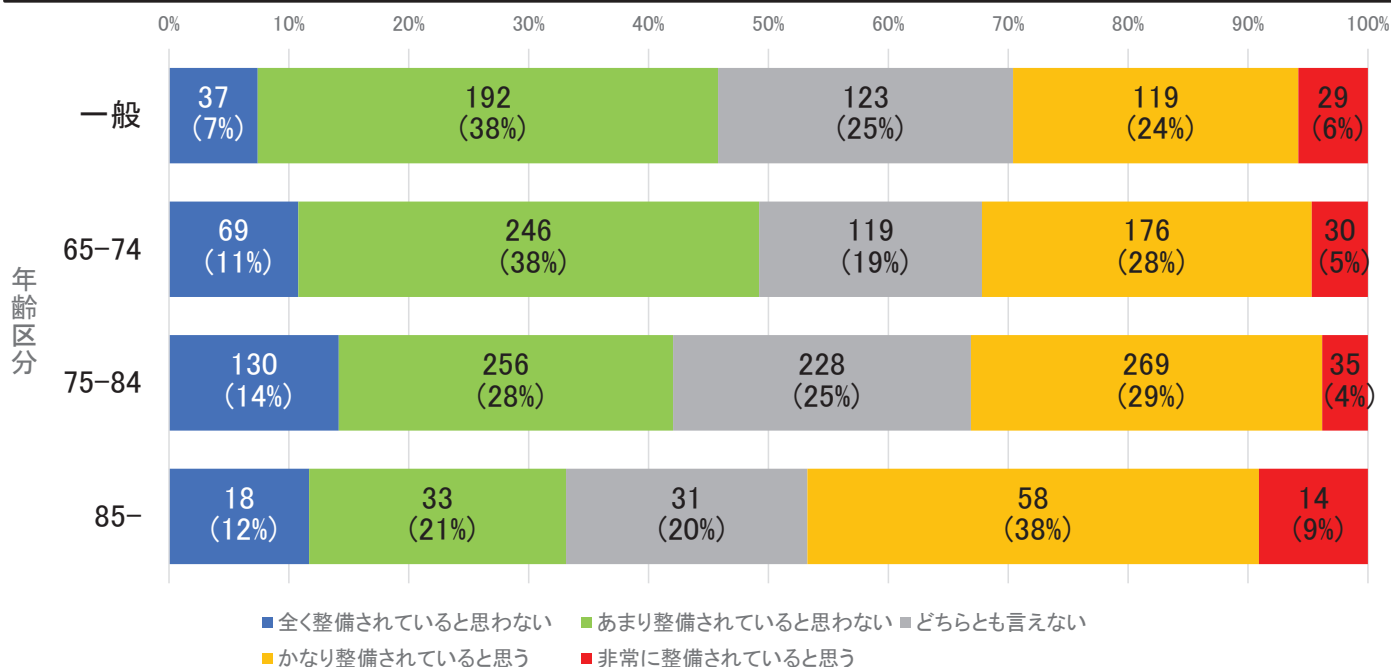


公共交通の整備状況（年齢別）

○高齢になるにつれて、「整備されていると思う」としている回答割合が高くなっている

【年齢区分×公共交通】

Q19.あなたの住む地域ではバス、電車等の公共交通が十分整備されていると思いますか。

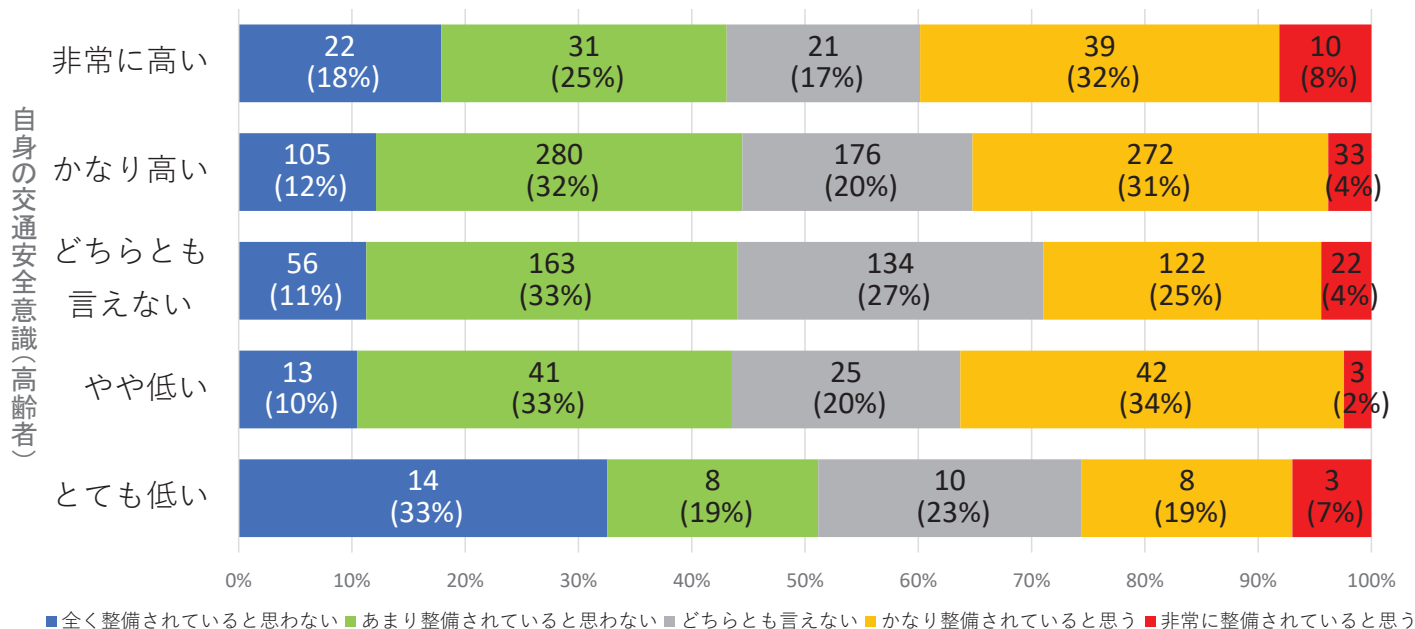


公共交通の整備状況（交通安全意識別）

○交通安全の意識別でみた場合、大きな差はない

【交通安全意識×公共交通】

Q19.あなたの住む地域ではバス、電車等の公共交通が十分整備されていると思いますか。



まとめ～住んでいる地域の印象

交通マナー

- ・豊田、西三河では、高齢者が居住地域の交通マナーについて、良くないと回答する割合が低い
- ・居住地域の交通マナーは高齢になるにつれて、よく思っている傾向にある
- ・自身の交通安全意識が低くなるにつれて、居住地域の交通マナーが良くないと回答している割合が増加している

ドライバーの歩行者保護意識

- ・尾張西部、尾張北部では、一般、高齢者ともにドライバーの歩行者保護意識が低いと思う傾向がみられる
- ・ドライバーの歩行者保護意識は、高齢になるにつれて、評価が高まる
- ・自身の交通安全意識が高い方が、ドライバーの歩行者保護意識が良いと感じている割合が高い

自主返納後の優遇措置

- ・尾張西部、瀬戸では、自主返納後の優遇措置について、高齢者がより「整っていない」と回答している
- ・自主返納後の優遇措置は、高齢になるにつれて、より整っていると回答している
- ・交通安全意識が低い方は、自主返納後の優遇措置が「全く整っているとは思わない」と回答している

公共交通の整備状況

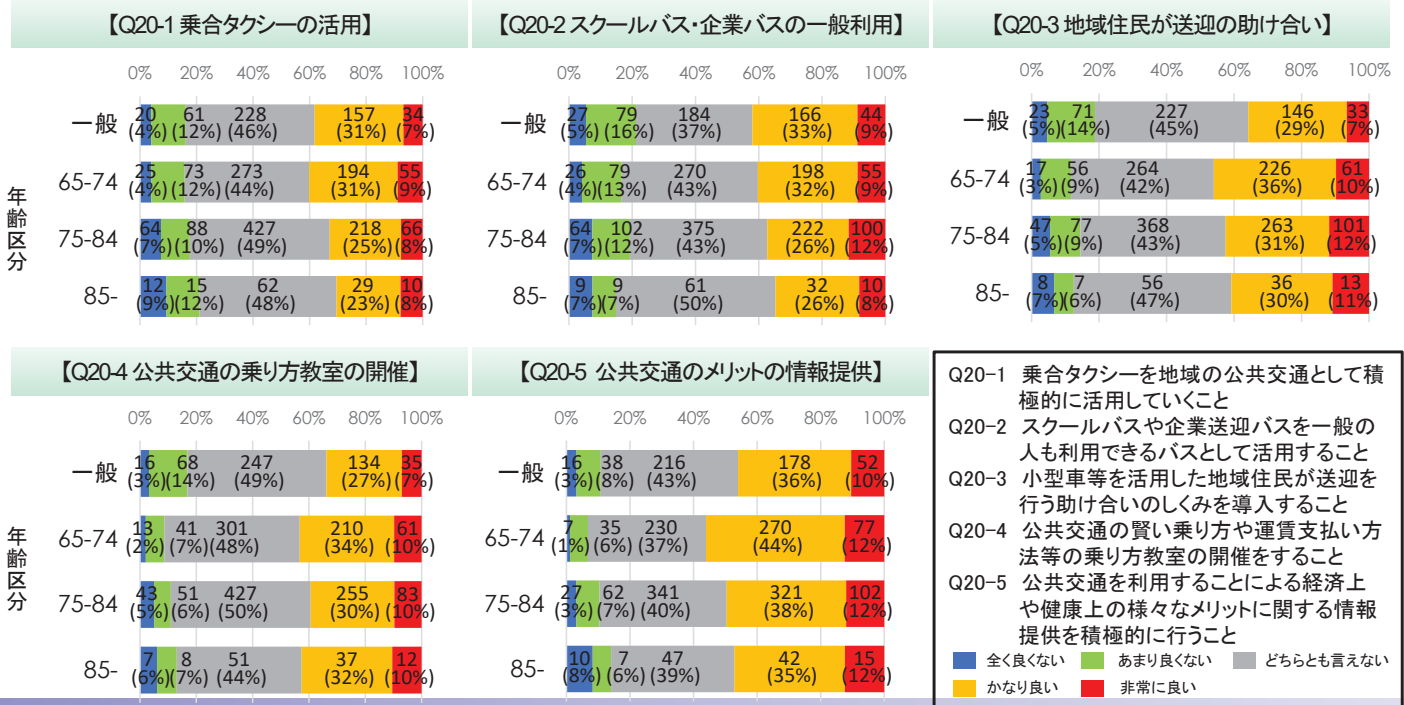
- ・名古屋市では整備状況の評価が高い
- ・津島・海部、尾張西部、瀬戸では特に高齢者において、「整備されていると思わない」とする回答割合が高い
- ・高齢になるにつれて、整備されていると思う割合が高くなっている

対策の受容性について

公共交通に関する対策（年齢別）

○一般・高齢者共に、「公共交通のメリットの情報提供」が「良い」と回答した方が最も多い
○年齢による特徴的な傾向は認められない

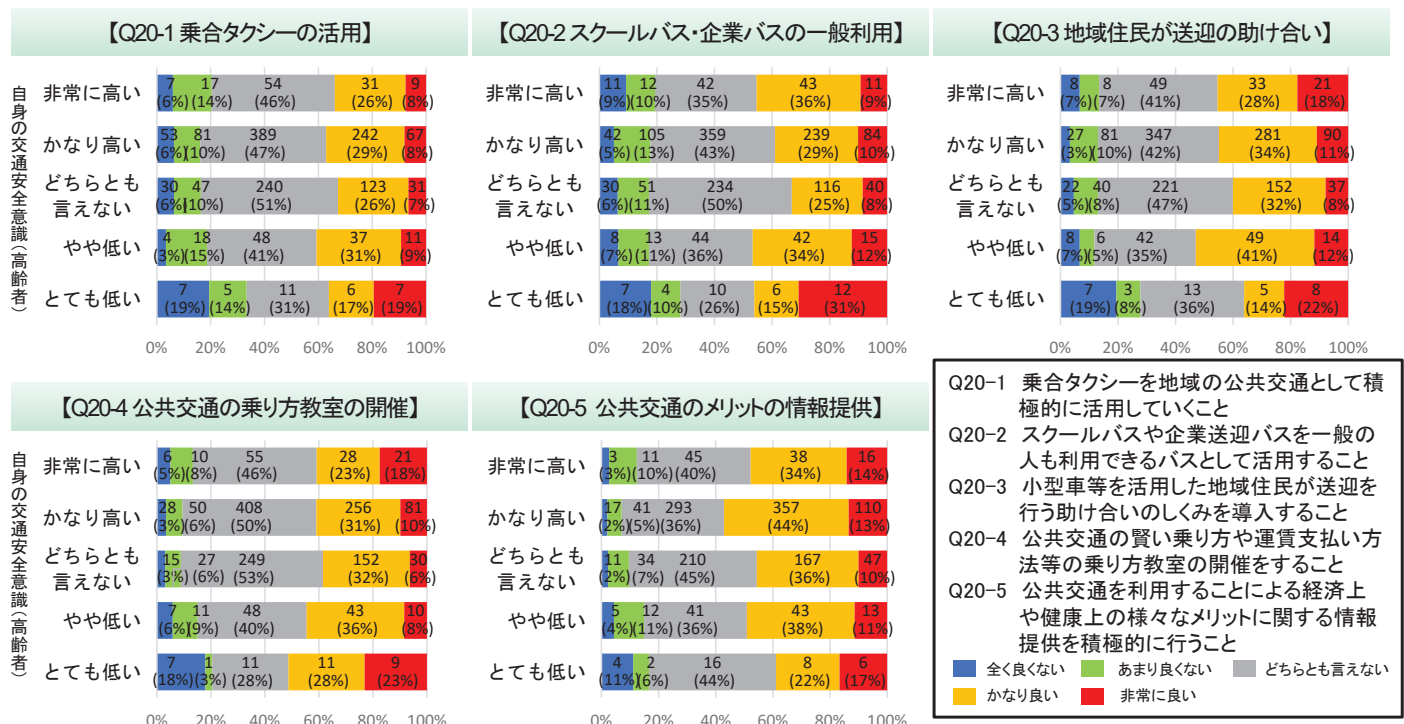
【年齢区分×公共交通に関する対策】



公共交通に関する対策（交通安全意識別）

○交通安全意識がとても低いと感じている方は、「スクールバス・企業バスの一般利用」、「公共交通の乗り方教室の開催」に対して「良い」と回答している割合が高い

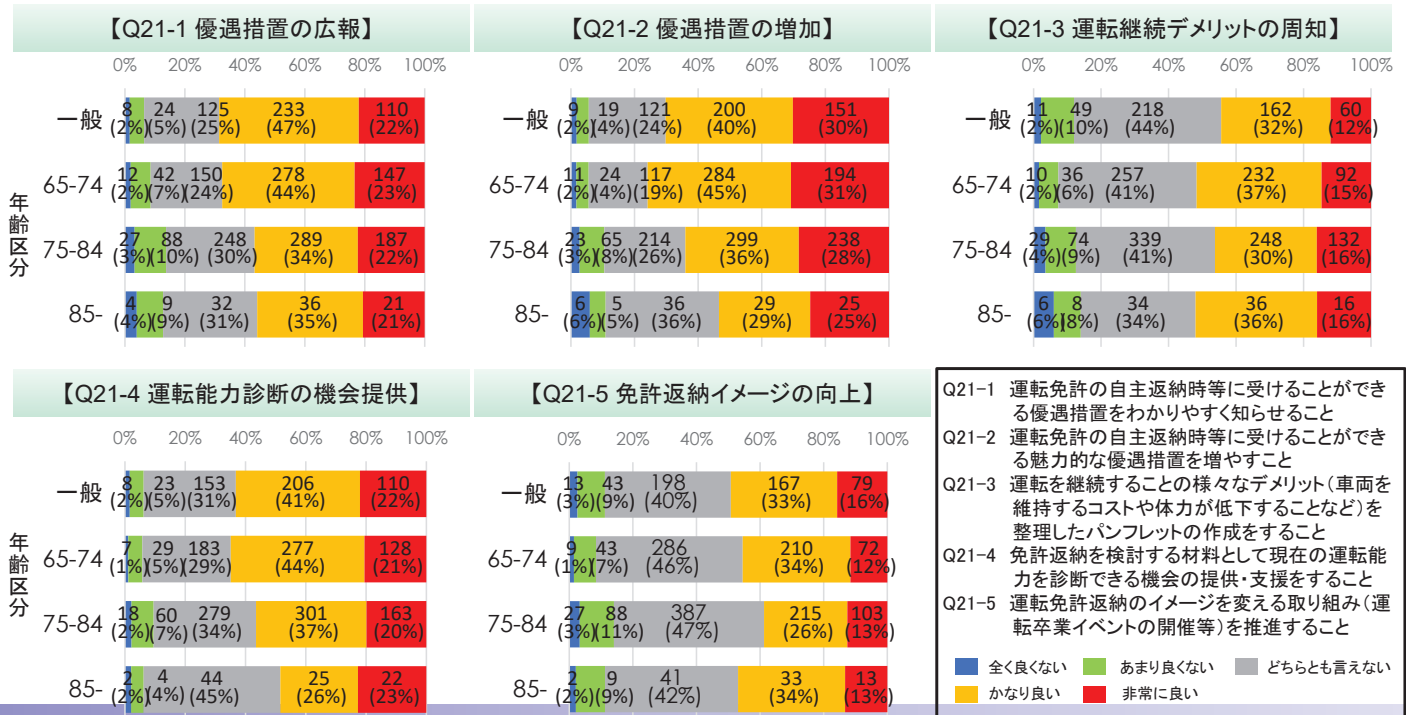
【交通安全意識×公共交通に関する対策】



運転免許自主返納に関する対策（年齢別）

○一般・高齢者共に、「優遇措置の増加」を「良い」と回答した方が最も多い
 ○「優遇措置の広報」や「優遇措置の増加」はすべての年代において、50%以上の方が「良い」と回答している

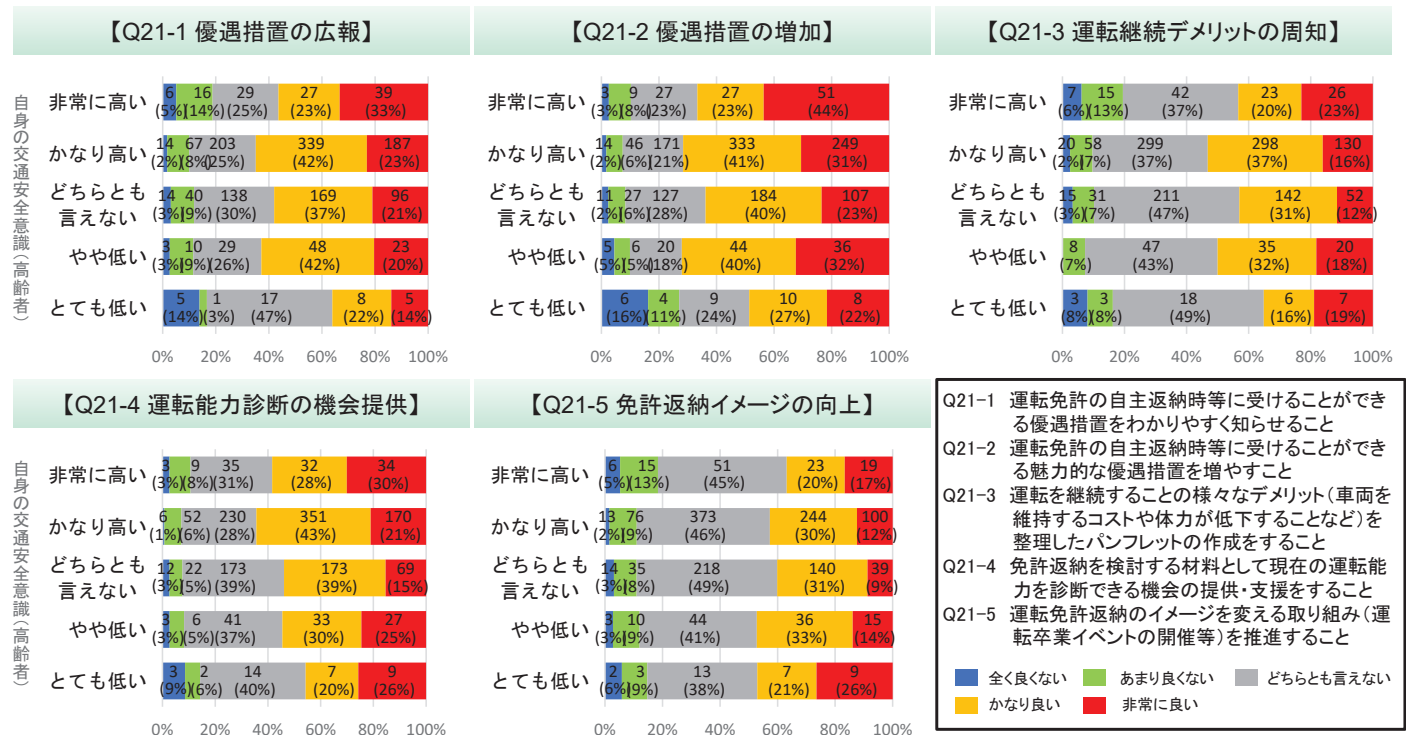
【年齢区分×運転免許自主返納に関する対策】



運転免許自主返納に関する対策（交通安全意識別）

○自身の交通安全意識による大きな違いはない

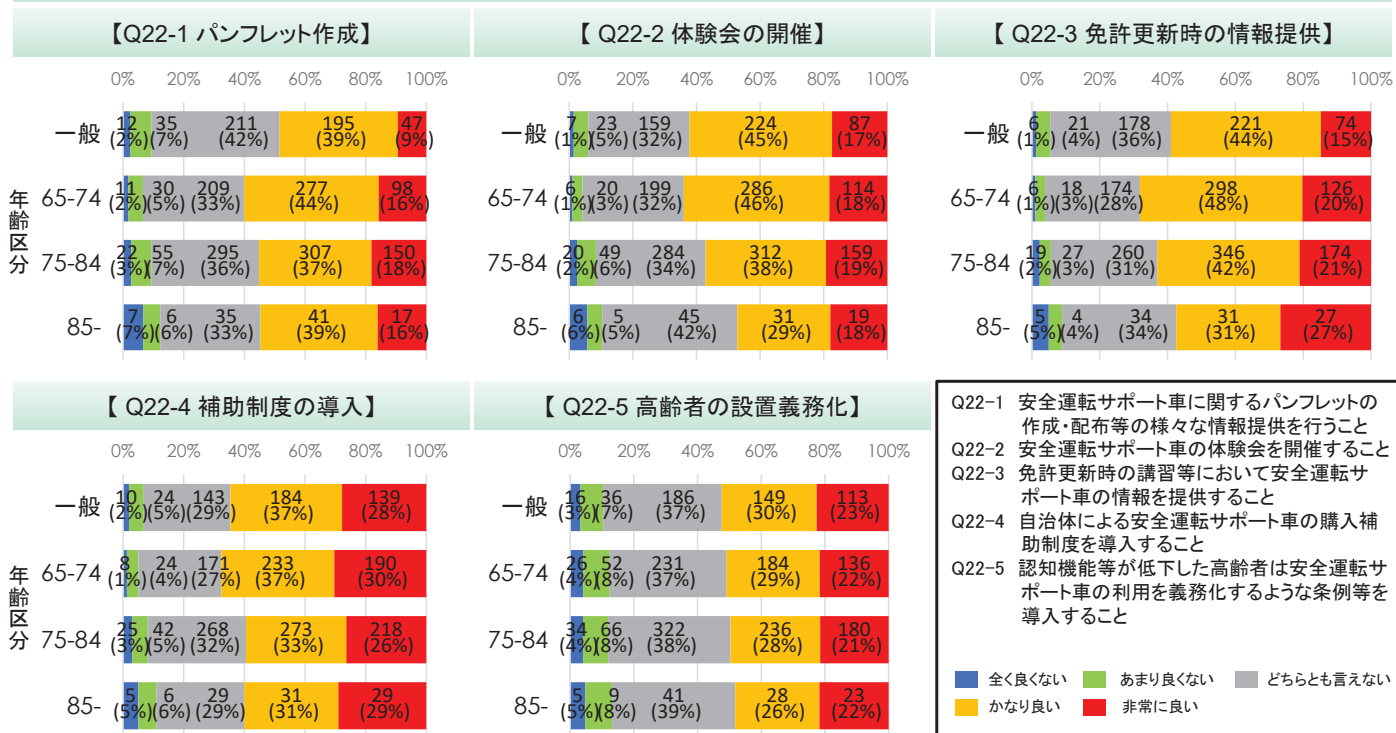
【交通安全意識×運転免許自主返納に関する対策】



安全運転サポート車に関する対策（年齢別）

○一般、高齢者共に「体験会の開催」「免許更新時の情報提供」「補助制度の導入」を「良い」と回答した方が多い

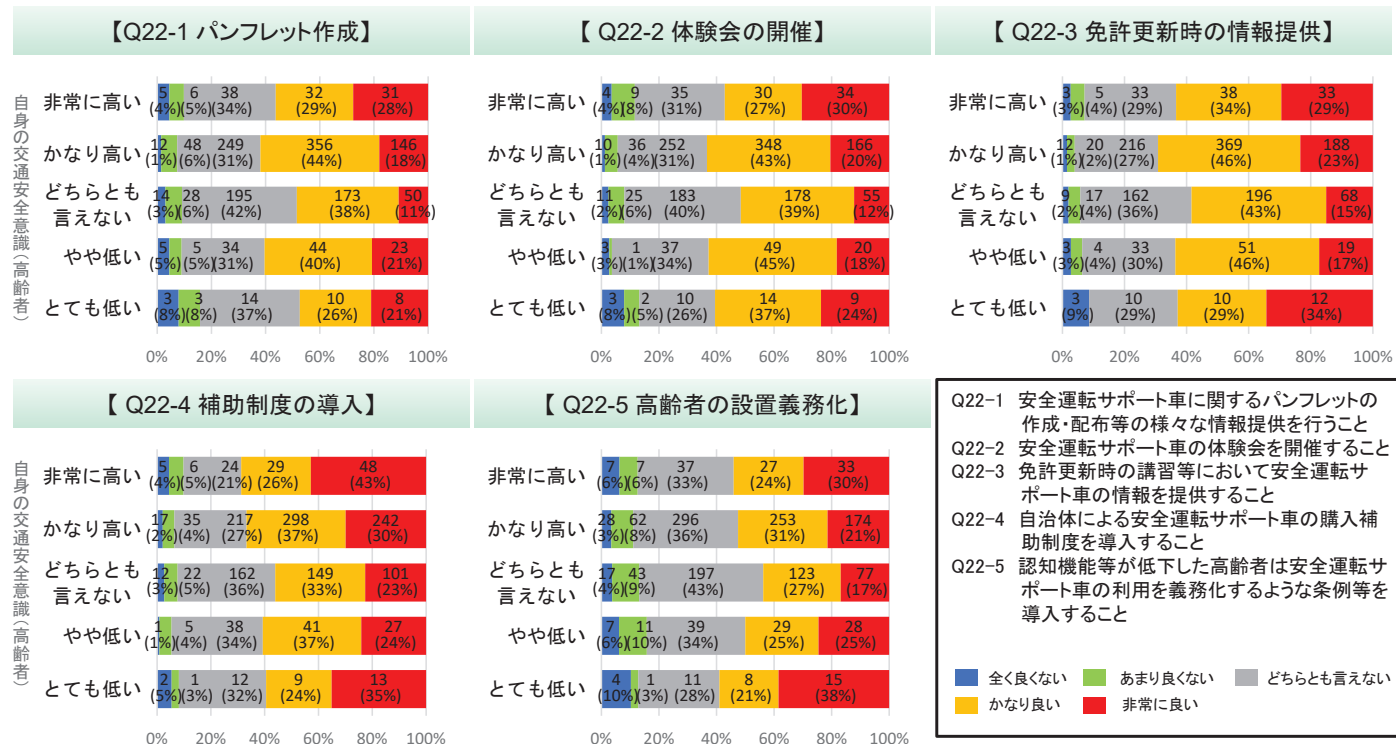
【年齢区分×安全運転サポート車に関する対策】



安全運転サポート車に関する対策（交通安全意識別）

○自身の交通安全意識による大きな違いはない

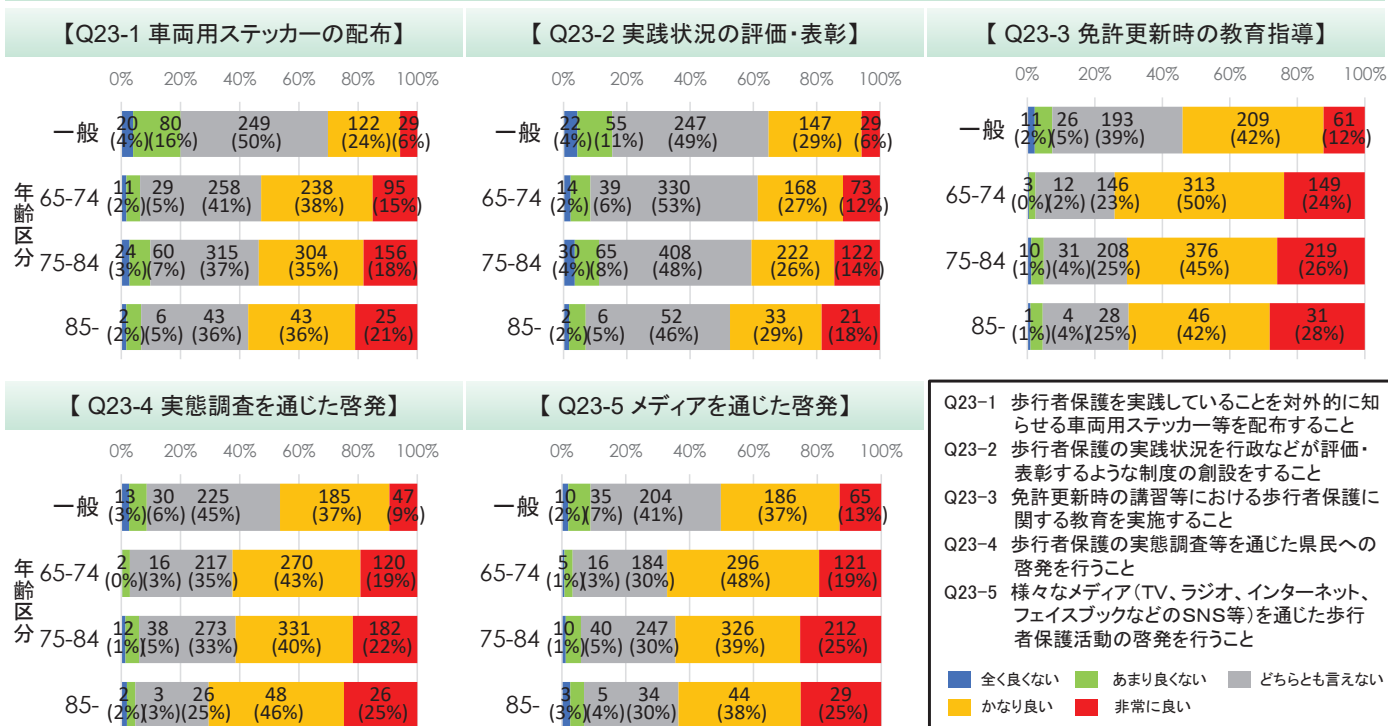
【交通安全意識×安全運転サポート車に関する対策】



歩行者保護意識に関する対策（年齢別）

○一般・高齢者共に、「免許更新時の教育指導」を「良い」と回答した方が最も多く、「実態調査を通じた啓発」と「メディアを通じた啓発」も比較的「良い」と回答した方が多い

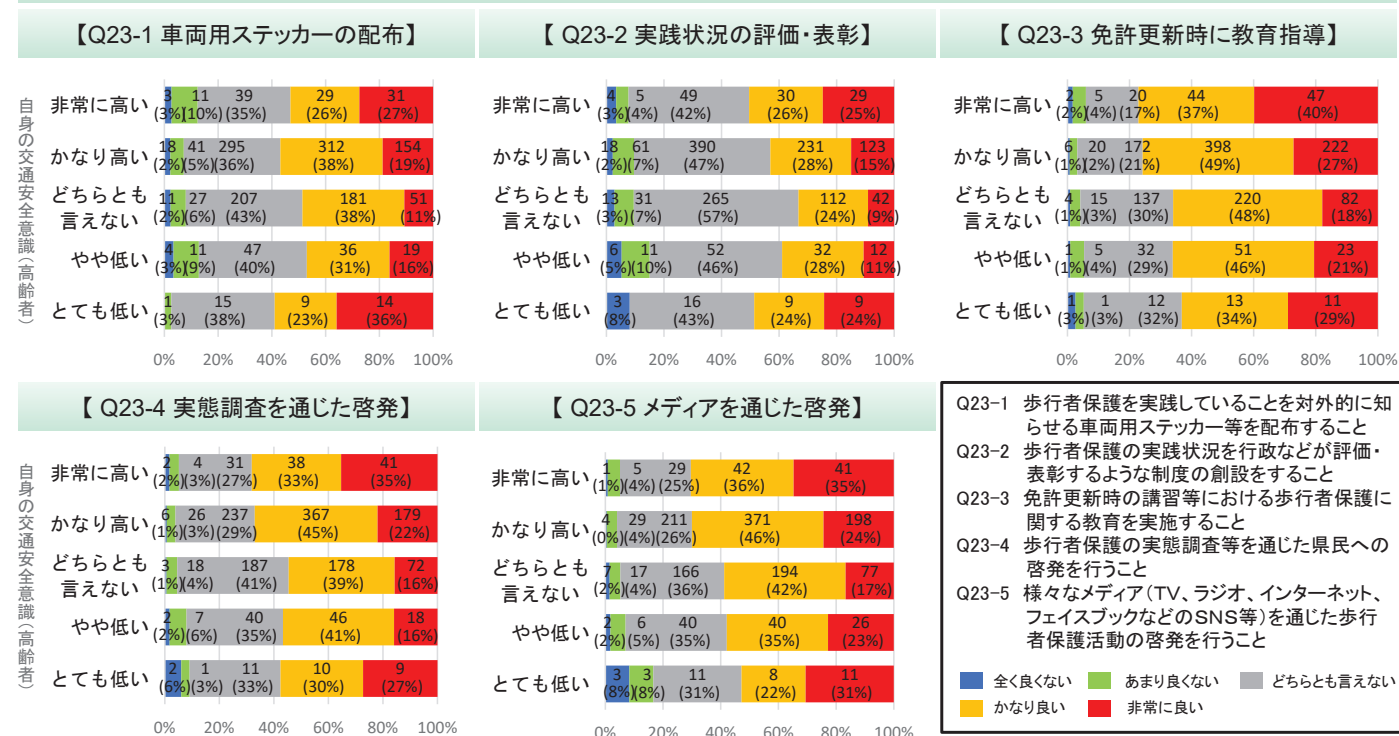
【年齢区分×歩行者保護意識に関する対策】



歩行者保護意識に関する対策（交通安全意識別）

○交通安全意識が低いほど、「メディアを通じた啓発」を「良い」と回答する方が少なくなっている

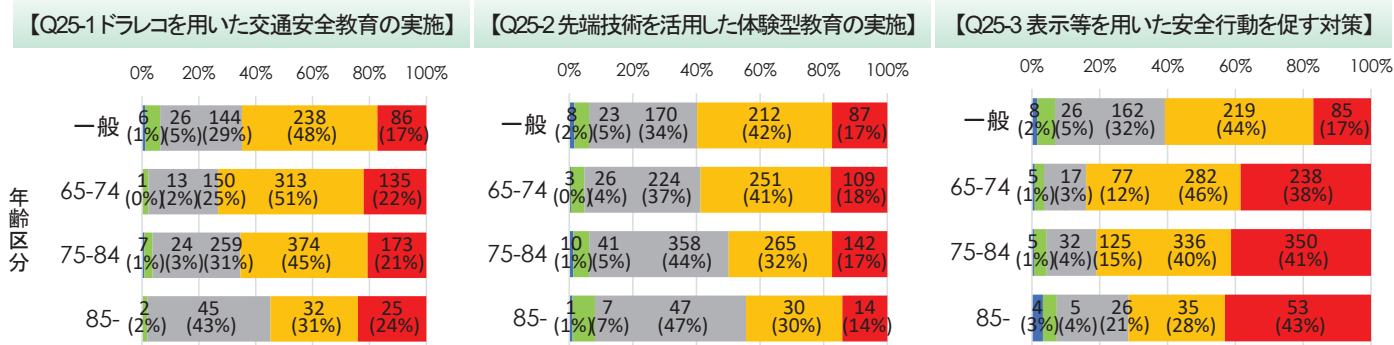
【交通安全意識×歩行者保護意識に関する対策】



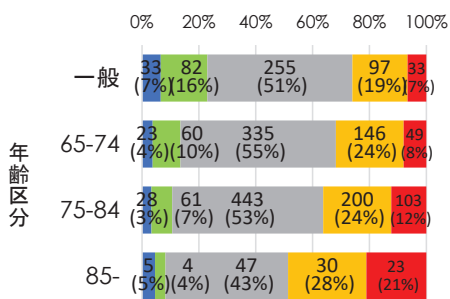
交通安全教育・行動変容手法に関する対策（年齢別）

○特に高齢者において「表示等を用いた安全行動を促す対策」を「良い」と回答した方が多い

【年齢区分×交通安全教育に関する対策】



【Q25-4 安全運転された際にSNSで報告】



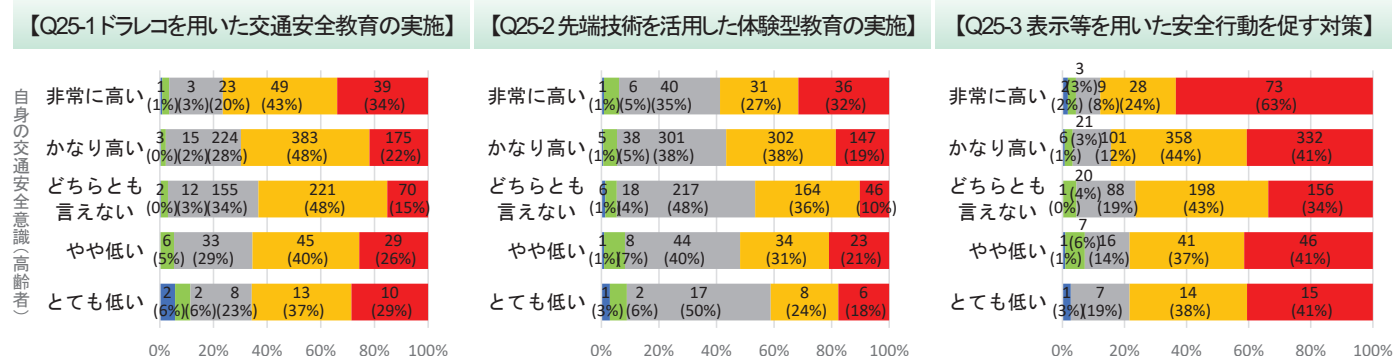
Q25-1 ドライブレコーダーを活用した交通安全教育を実施すること
 Q25-2 先端技術(VR(仮想現実)等)を活用した体験型教育を実施すること
 Q25-3 自転車や歩行者の安全な行動を促す標識や路面による表示を整備すること
 Q25-4 安全運転をした際に相手をほめたり、SNS(フェイスブックやツイッターなど)等で「いいね!」を送ったりする活動を行うこと

■ 全く良くない ■ あまり良くない ■ どちらとも言えない ■ かなり良い ■ 非常に良い

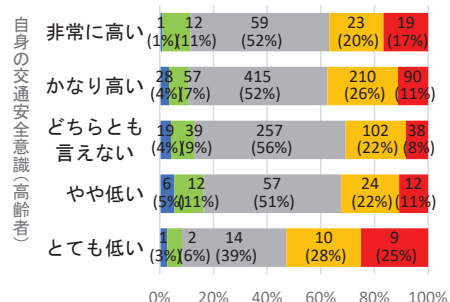
交通安全教育・行動変容手法に関する対策（交通安全意識別）

○自身の交通安全意識がとても低いと感じている方は、「安全運転された際にSNSで報告」を「良い」と回答している割合が高い

【交通安全意識×交通安全教育に関する対策】



【Q25-4 安全運転された際にSNSで報告】



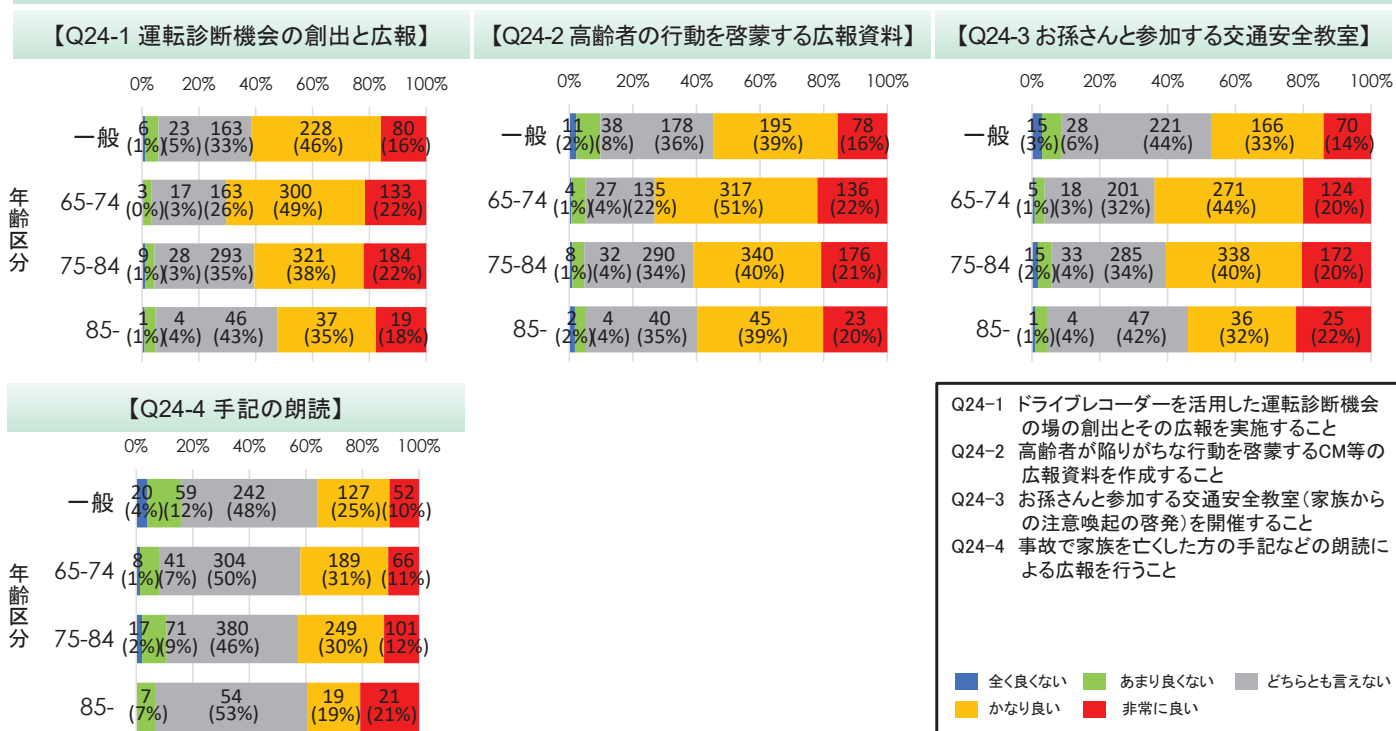
Q25-1 ドライブレコーダーを活用した交通安全教育を実施すること
 Q25-2 先端技術(VR(仮想現実)等)を活用した体験型教育を実施すること
 Q25-3 自転車や歩行者の安全な行動を促す標識や路面による表示を整備すること
 Q25-4 安全運転をした際に相手をほめたり、SNS(フェイスブックやツイッターなど)等で「いいね!」を送ったりする活動を行うこと

■ 全く良くない ■ あまり良くない ■ どちらとも言えない ■ かなり良い ■ 非常に良い

広報方法に関する対策（年齢別）

- 一般・高齢者共に「運転診断機会の創出と広報」を「良い」と回答した割合が最も高い
- 高齢者は一般と比べて、特に「お孫さんと参加する交通安全教室」を「良い」と回答した方が多い

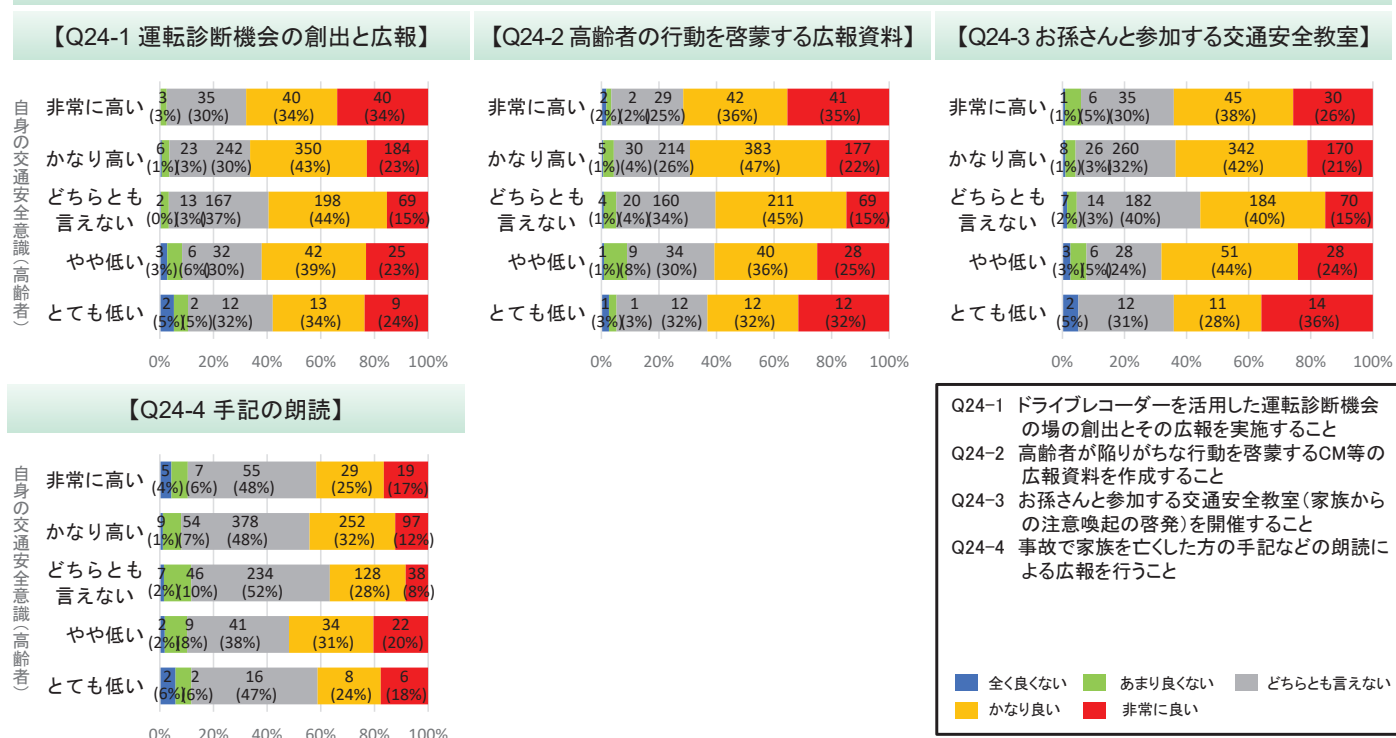
【年齢区分×広報方法に関する対策】



広報方法に関する対策（交通安全意識別）

- 自身の交通安全意識による大きな違いはない

【交通安全意識×広報方法に関する対策】



まとめ～対策の受容性について

公共交通に関する対策

- ・一般・高齢者共に、「公共交通のメリットの情報提供」を「良い」と回答した方が最も多い
- ・交通安全意識がとてつもなく低いと感じている方は、「スクールバス・企業バスの一般利用」、「公共交通の乗り方教室の開催」に対して「良い」と回答している方が多い

運転免許自主返納に関する対策

- ・一般・高齢者共に、「優遇措置の増加」を「良い」と回答した方が最も多い
- ・優遇措置の「広報」や「増加」はすべての年代において、50%以上の方が「良い」と回答している

安全運転サポート車に関する対策

- ・一般、高齢者共に、「体験会の開催」「免許更新時の情報提供」「補助制度の導入」を「良い」と回答した方が多い

歩行者保護意識に関する対策

- ・一般・高齢者共に、「免許更新時の教育指導」を「良い」と回答した方が最も多く、「実態調査を通じた啓発」や「メディアを通じた啓発」も比較的「良い」と回答した方が多い
- ・交通安全意識が低いほど、「メディアを通じた啓発」に関する対策で「良い」と回答する方が減少している

交通安全教育・行動変容手法に関する対策

- ・特に高齢者において「表示等を用いた安全行動を促す対策」が「良い」と回答した方が多い
- ・自身の交通安全意識がとてつもなく低いと感じている方は、「安全運転された際にSNSで報告」することを「良い」と回答している割合が高い

広報方法に関する対策

- ・一般・高齢者共に、「運転診断機会の創出と広報」を「良い」と回答した割合が最も高い
- ・高齢者は一般と比べて、特に「お孫さんと参加する交通安全教室」を「良い」と回答した方が多い

交通安全対策に関する自由記述

交通安全対策に関する自由記述（一般）

【交通安全対策に関する自由記述】

Q26.上記の対策以外で、交通安全の向上のために効果的だと思う対策や、その他、愛知県の高齢者の交通安全対策に関するご意見などございましたらご自由に記入ください。

<交通安全の向上のために効果的だと思う対策>（一般）

○自主返納に関する対策(11件)

- ・免許の自主返納は家族の問題になる家庭もあるので、家族を含めた講習を開催する

○公共交通に関する対策(14件)

- ・バスなどの公共交通の充実
- ・公共交通の利用やタクシーの利用がしやすくなれば良いと思う
- ・都心部は公共交通があるが、郊外部で利用できる小型バスやタクシーができると良い

○歩行者・自転車に関する対策(27件)

- ・自転車の基本ルールの実施や体験を行う
- ・高齢者講習の時に夜間見え易い様に、明るい色の服や反射材を身につけるように呼び掛ける
- ・高齢歩行者、自転車に乗る方々の立場に立った研修が必要

交通安全対策に関する自由記述（一般）

【交通安全対策に関する自由記述】

<その他、愛知県の高齢者の交通安全対策に関するご意見>（一般）

○自主返納に関するご意見

- ・愛知県は車社会なので、返納したい人は少ないと思う
- ・高齢者の免許の自主返納を促す対策をすることは効果的だと思うが、どこまで早急にできるかが課題になる。

○高齢者や若者に関するご意見

- ・買物はボケ防止になるとも聞いたことがあるので、通院や買物に行く時に補助してくれる交通手段があれば運転する必要はないと思う

○その他

- ・移動手段がなくなると、高齢者は孤独化するので、そうならないコミュニティなどもあるといいと思う
- ・今のところ自分の運転には必要なさそうだが、父親や年配の友人には意識してもらいたいと思う
- ・対策を立てても実際に活用しないと何もならないので是非ともみんなに知れ渡ってほしいと思う

合計182件の自由記述

交通安全対策に関する自由記述（高齢者）

【交通安全対策に関する自由記述】

Q26.上記の対策以外で、交通安全の向上のために効果的だと思う対策や、その他、愛知県の高齢者の交通安全対策に関するご意見などございましたらご自由に記入ください。

<交通安全の向上のために効果的だと思う対策>（高齢者）

○歩行者・自転車に関する対策(53件)

- ・自転車乗車時のヘルメットの普及
- ・自転車レーンを増やすこと
- ・若い世代への自転車教育の徹底

○教育方法に関する対策(17件)

- ・安全教育を徹底する
- ・AEDのやり方を教えてほしい
- ・運転免許更新の方法をもっと増やしてほしい、教習所が少ない
- ・高齢者であることの自覚を促す講習をしてはどうか

○取締り方法に関する対策(17件)

- ・狭い道路での一時停止の取締りよりも、広い道路で取締りをしてほしい
- ・スピード制限の取締りを徹底すること
- ・人件費で費用がかさむが、現場での取締りを行うことが一番効果がある

交通安全対策に関する自由記述（高齢者）

【交通安全対策に関する自由記述】

<その他、愛知県の高齢者の交通安全対策に関するご意見>（高齢者）

○自主返納に関するご意見

- ・高齢者の免許自主返納は義務化してほしいが、その代わりに公共交通を無料で使えるようにしてほしい
- ・郊外に住んでいる人は車がないと困るので、返納後のフォローが必要だと思う

○高齢者や若者に関するご意見

- ・小学生の下校見廻りをして自分の交通安全の意識が変わった。こういう機会を老人会を通して啓発活動するとよい
- ・高齢者への講習も大切だが、若者への講習もしっかりとしていただきたい

○その他

- ・横断歩道を増やしてほしい
- ・道路標示(白線など)が消えているので、修復してほしい等

合計312件の自由記述

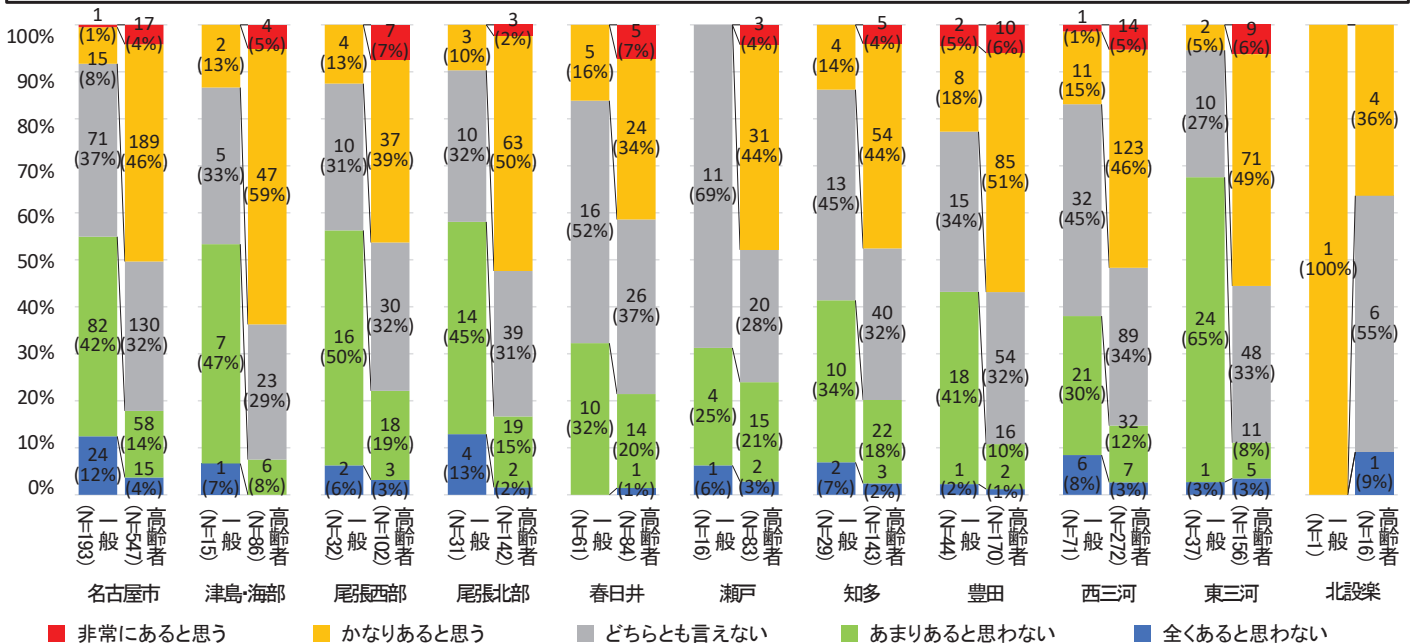
【その他のアンケート】 住んでいる地域の交通安全教育と 広報活動の受容性

交通安全教育（地域別）

○交通安全教育効果は、ほとんどの地域で高齢者は効果があると思っている傾向にあるが、名古屋市、尾張西部、尾張北部、東三河の一般は、半数以上が効果はあるとは思わないと回答している

【地域×交通安全教育効果】

Q16.あなたは運転免許の更新時や地域で取り組まれている交通安全教育の内容や方法について効果があると思いますか。



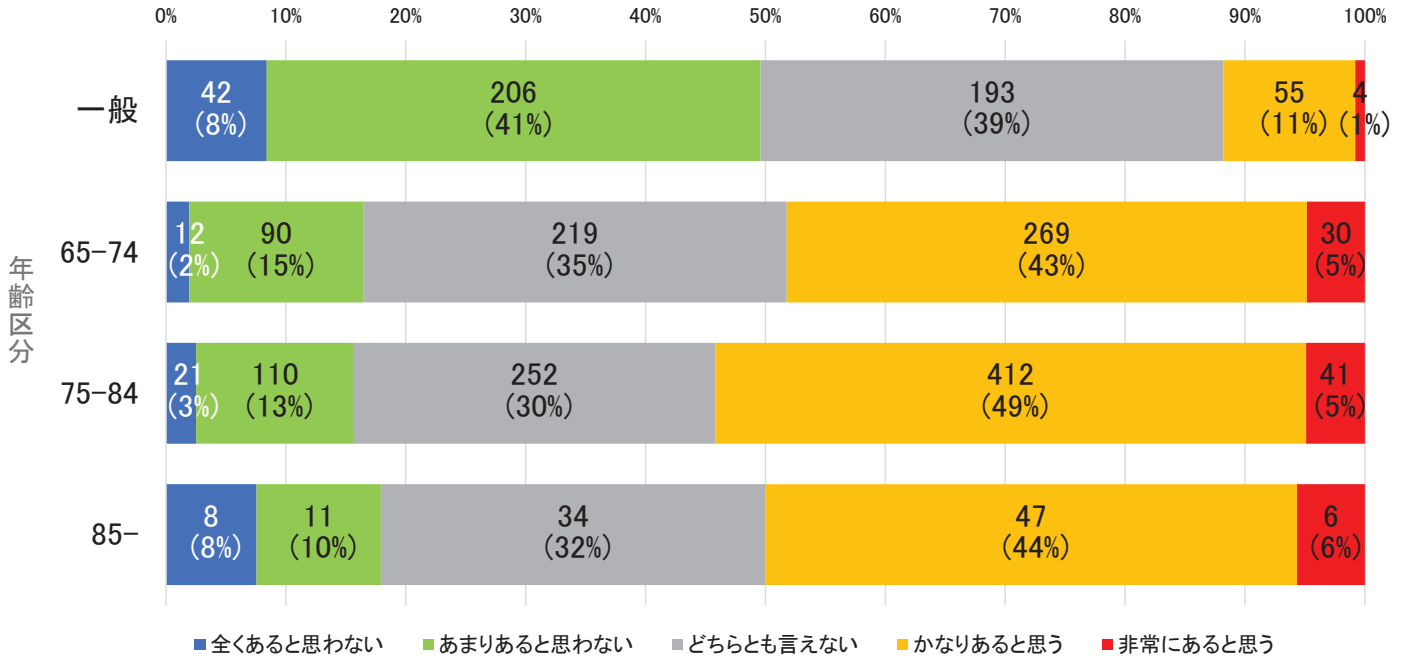
※無回答を含むため、Nと各回答の総数が合わない場合がある ※総数が少ない地域もあることを留意する

交通安全教育（年齢別）

○交通安全教育効果について、一般に比べ高齢者のほうが効果があると思っている傾向にある

【年齢区分×交通安全教育効果】

Q16.あなたは運転免許の更新時や地域で取り組まれている交通安全教育の内容や方法について効果があると思いますか。

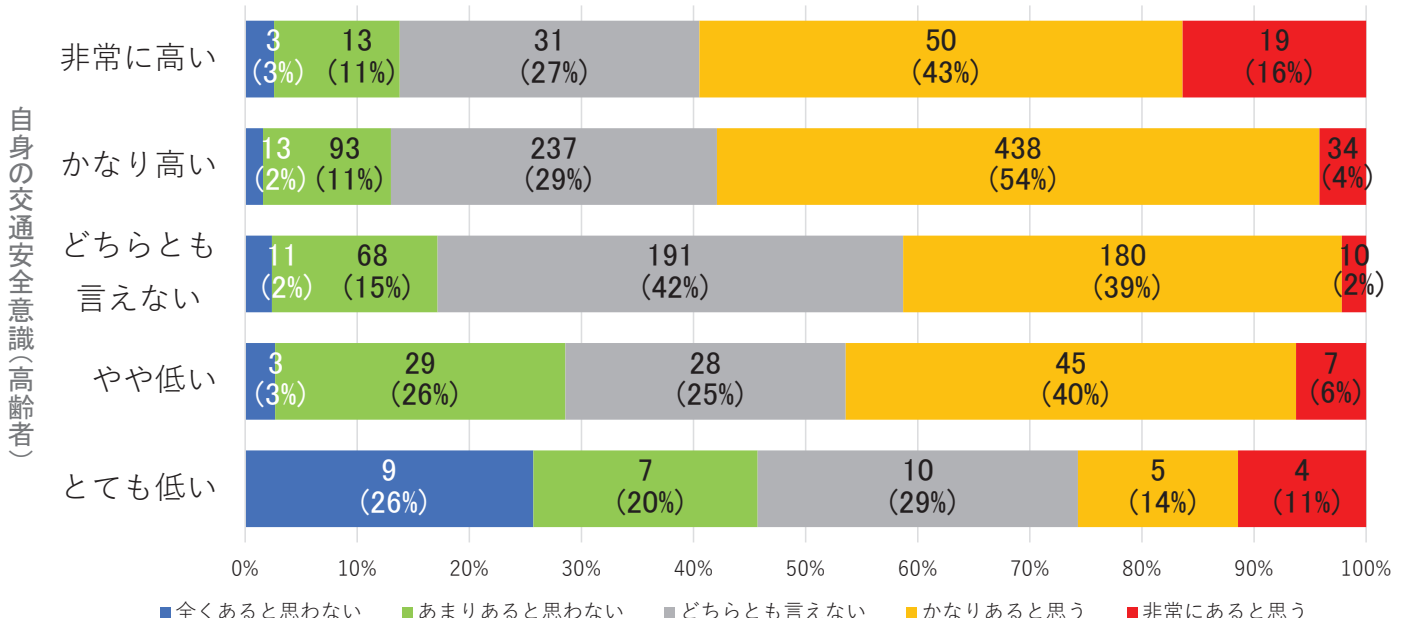


交通安全教育（交通安全意識別）

○自身の交通安全意識がとても低いと感じている人は、交通安全教育の効果があると思わないと回答している割合が高い

【交通安全意識×交通安全教育効果】

Q16.あなたは運転免許の更新時や地域で取り組まれている交通安全教育の内容や方法について効果があると思いますか。

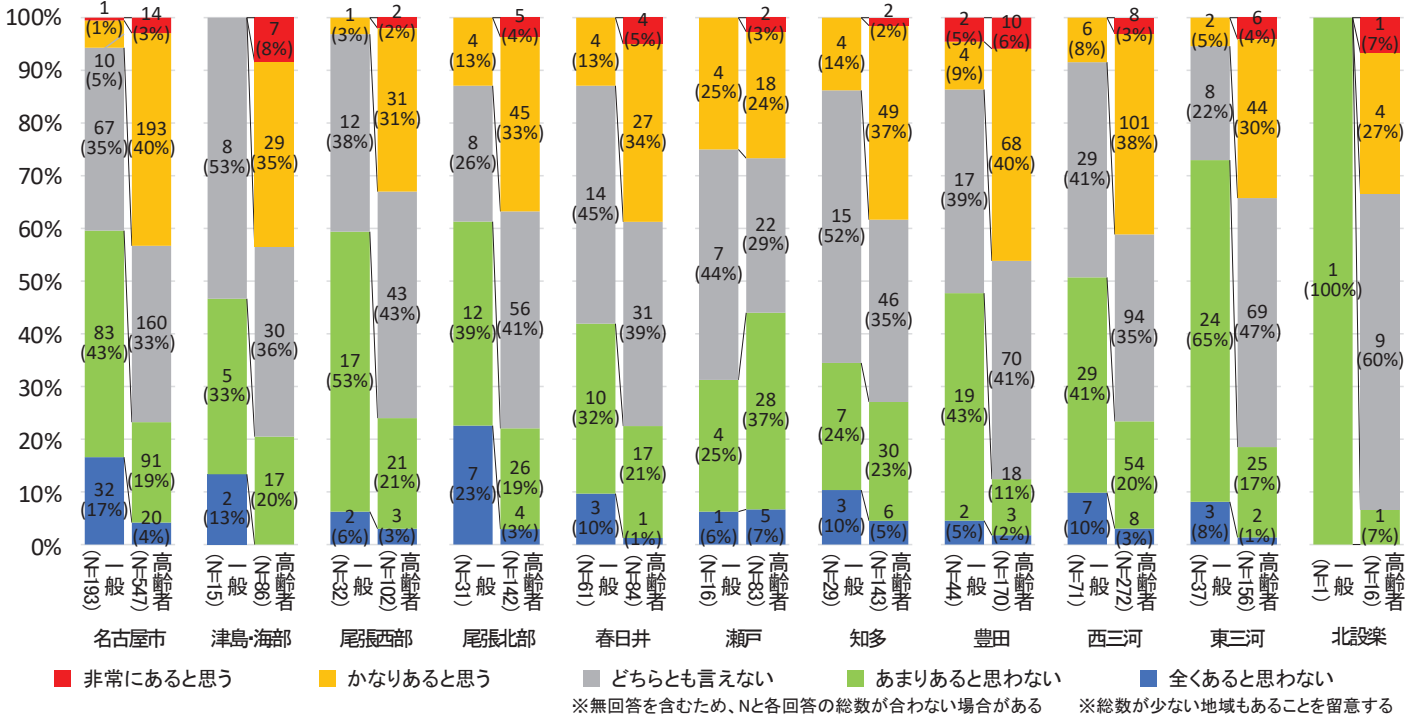


広報効果（地域別）

○広報効果は、多くの地域で高齢者の方が効果があると思っている傾向にある

【地域×広報効果】

Q17.あなたは現在行われている交通安全に関わる広報の内容や方法（ポスターの掲示やチラシの配布、ラジオ広報等）に効果があると思いますか。

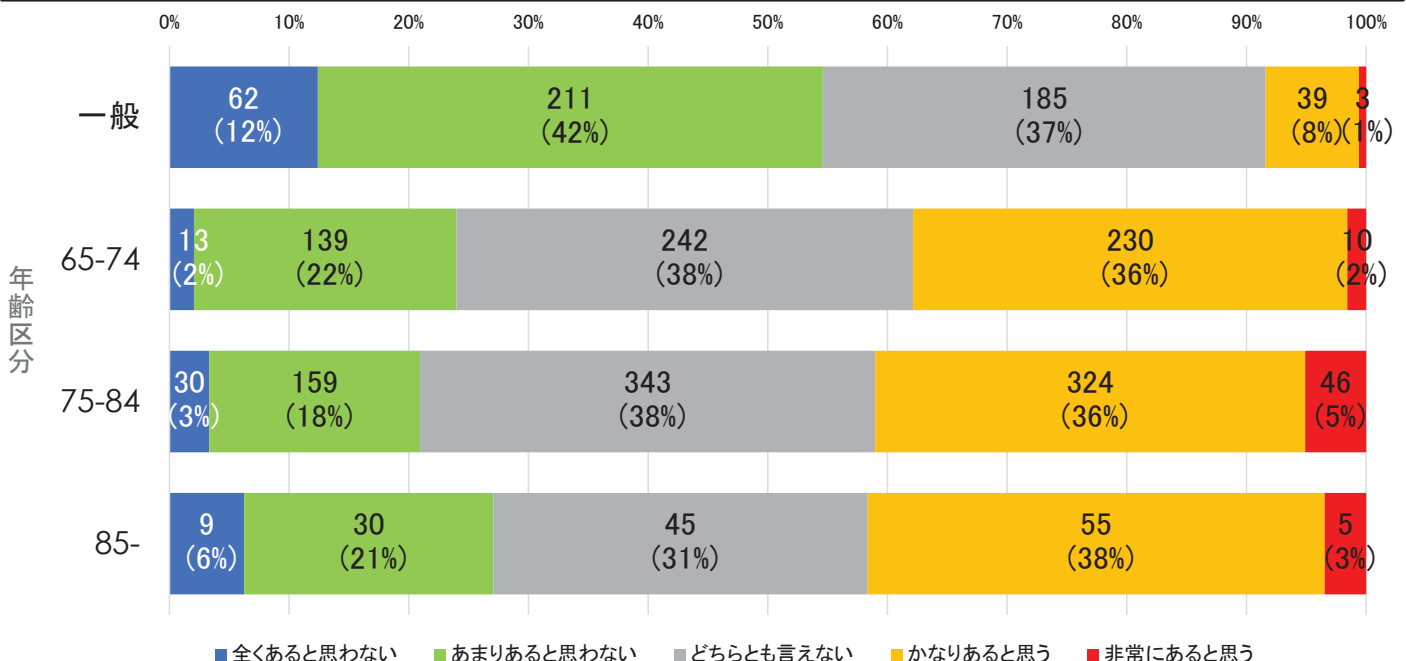


広報効果（年齢別）

○広報効果について、一般に比べ高齢者のほうが効果があると思っている傾向にある

【年齢区分×広報効果】

Q17.あなたは現在行われている交通安全に関わる広報の内容や方法（ポスターの掲示やチラシの配布、ラジオ広報等）に効果があると思いますか。



広報効果（交通安全意識別）

○自身の交通安全意識が低くなるにつれて、広報効果があると思わないと回答している割合が高くなっている

【交通安全意識 × 広報効果】

Q17.あなたは現在行われている交通安全に関わる広報の内容や方法（ポスターの掲示やチラシの配布、ラジオ広報等）に効果があると思いますか。

